

第2章 本市の障害者の現状

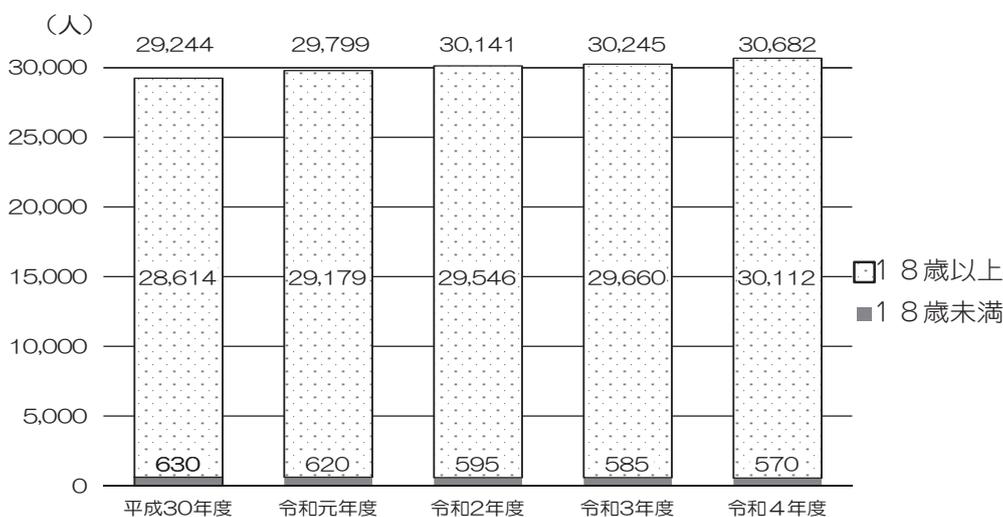
1 障害者数の推移

(1) 身体障害者

① 身体障害者手帳の交付状況の推移

身体障害者手帳の交付状況の推移をみると、毎年度、増加傾向にあり、平成30年度の29,244人から令和4年度には30,682人となっています。

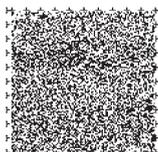
図1-1 身体障害者手帳の交付状況



(人)

年齢階層	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全 体	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	全 体	29,244	29,799	30,141	30,245	30,682
	18歳未満	630	620	595	585	570
18歳以上	28,614	29,179	29,546	29,660	30,112	

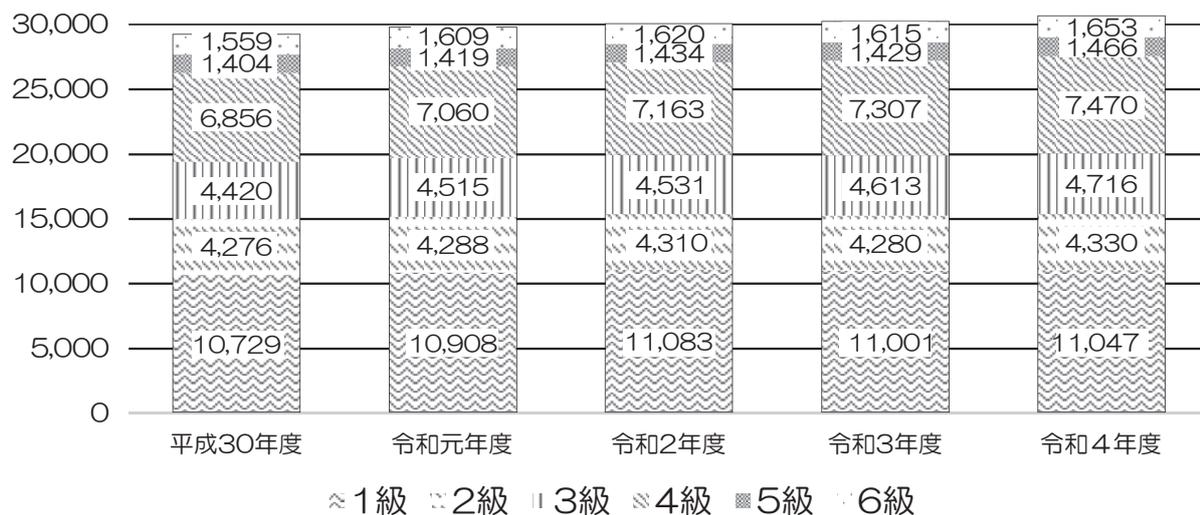
増減率	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全 体	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	全 体	—	1.90%	1.15%	0.35%	1.44%
	18歳未満	—	-1.59%	-4.03%	-1.68%	-2.56%
18歳以上	—	1.97%	1.26%	0.39%	1.52%	



②等級別身体障害者手帳の交付状況の推移

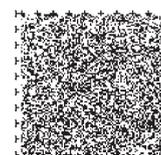
等級別に身体障害者手帳の交付状況の推移をみると、各年度とも1級と2級で全体の5割程度を占めています。構成割合には、ほとんど変化が見られません。

図1-2 等級別身体障害者手帳の交付状況



(人)

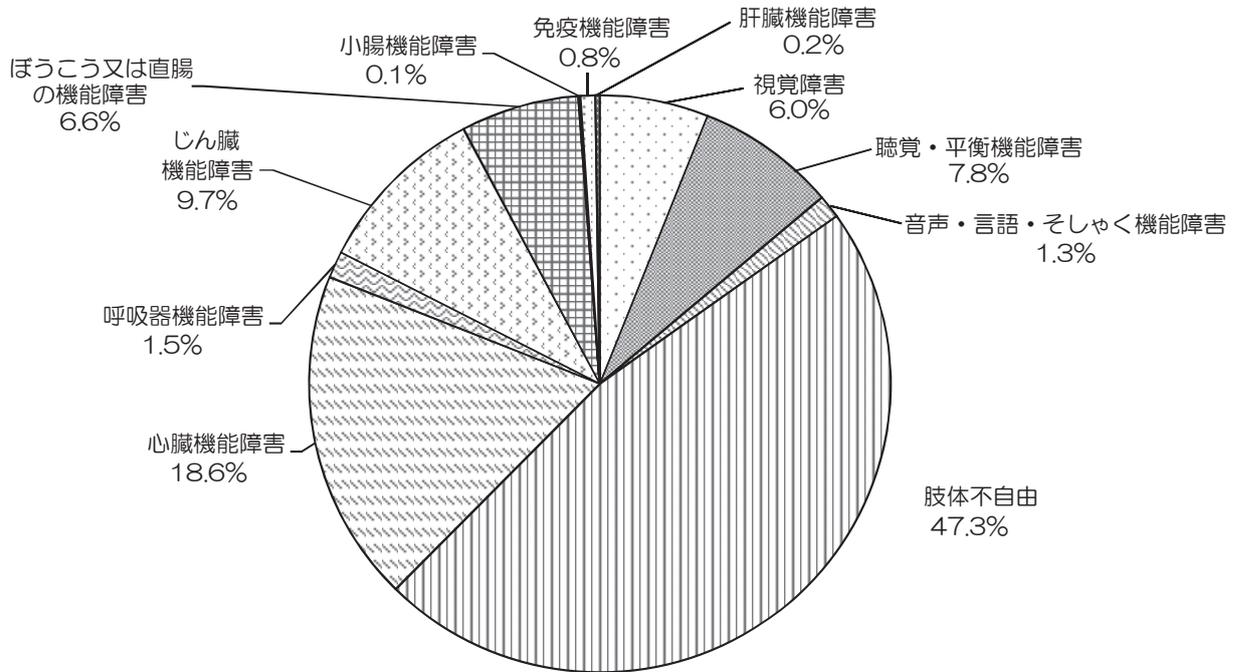
等級 \ 年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1級	10,729	10,908	11,083	11,001	11,047
2級	4,276	4,288	4,310	4,280	4,330
3級	4,420	4,515	4,531	4,613	4,716
4級	6,856	7,060	7,163	7,307	7,470
5級	1,404	1,419	1,434	1,429	1,466
6級	1,559	1,609	1,620	1,615	1,653



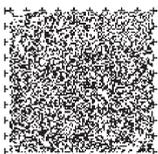
③身体障害者手帳の交付状況（内訳）

身体障害者手帳の交付状況の内訳をみると「肢体不自由」が47.3%で最も割合が高く、次いで「心臓機能障害」が18.6%となっています。

図1-3 身体障害者手帳の交付状況（内訳）令和4年度



障害部位	人数 (人)	構成比 (%)
全 体	30,682	100.0%
視覚障害	1,854	6.0%
聴覚・平衡機能障害	2,387	7.8%
音声・言語・そしゃく機能障害	401	1.3%
肢体不自由	14,503	47.3%
心臓機能障害	5,717	18.6%
呼吸器機能障害	458	1.5%
じん臓機能障害	2,978	9.7%
ぼうこう又は直腸の機能障害	2,016	6.6%
小腸機能障害	36	0.1%
免疫機能障害	260	0.8%
肝臓機能障害	72	0.2%

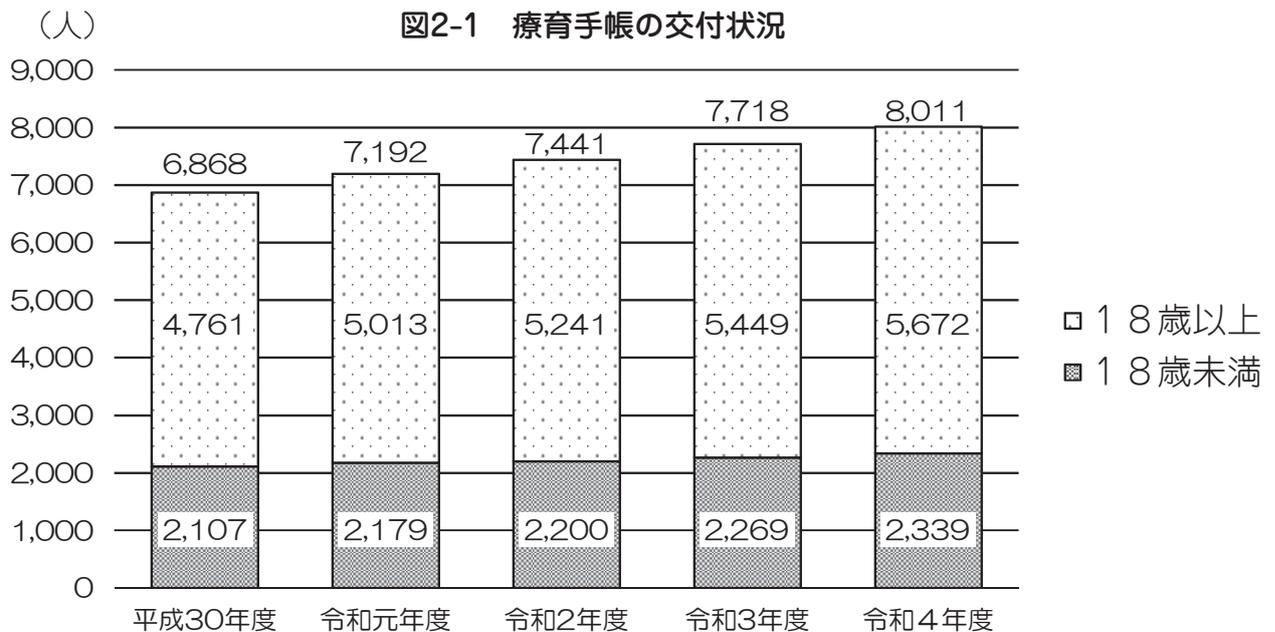


(2) 知的障害者

①療育手帳の交付状況の推移

療育手帳の交付状況の推移をみると、毎年度、増加傾向にあり、平成30年度の6,868人から令和4年度には8,011人となっています。

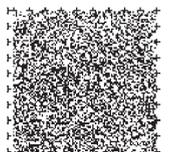
また、18歳未満の比率は、全体の3割程度を占めています。



(人)

年齢階層	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全 体	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	全 体	6,868	7,192	7,441	7,718	8,011
	18歳未満	2,107	2,179	2,200	2,269	2,339
18歳以上	4,761	5,013	5,241	5,449	5,672	

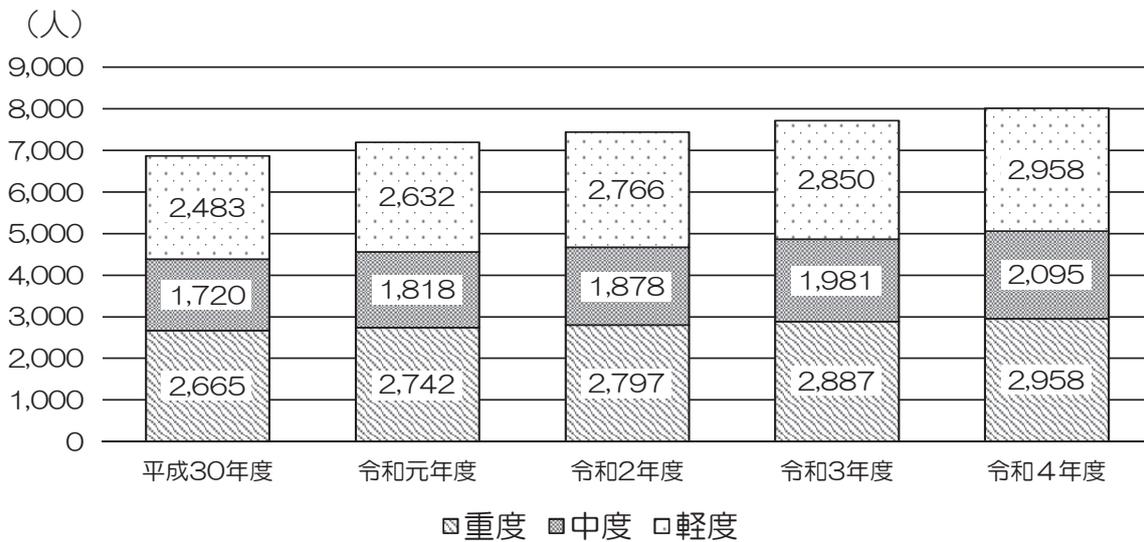
増減率	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全 体	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	全 体	—	4.72%	3.46%	3.72%	3.80%
	18歳未満	—	3.42%	0.96%	3.14%	3.09%
18歳以上	—	5.29%	4.55%	3.97%	4.09%	



②障害程度別療育手帳の交付状況の推移

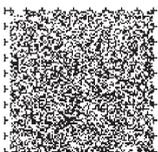
障害程度別に療育手帳の交付状況をみると、各年度とも、重度が全体の4割程度を占めています。特に軽度が増加傾向にあります。

図2-2 等級別療育手帳の交付状況



(人)

障害程度 \ 年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
重度	2,665	2,742	2,797	2,887	2,958
中度	1,720	1,818	1,878	1,981	2,095
軽度	2,483	2,632	2,766	2,850	2,958

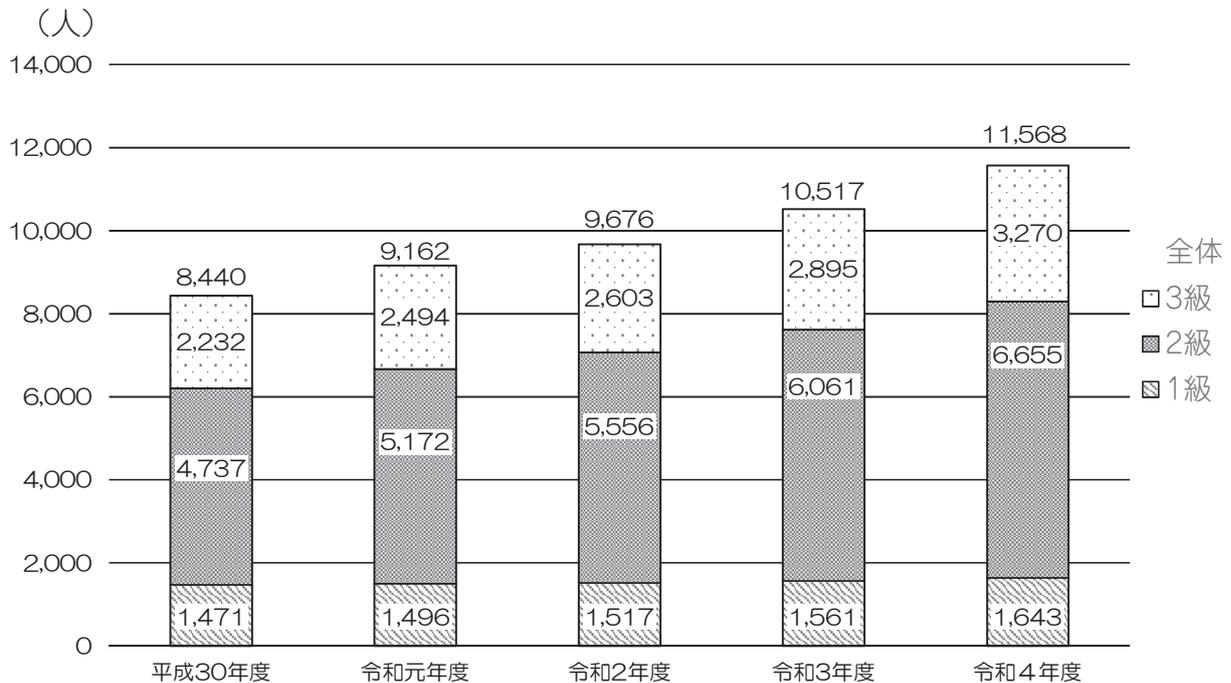


(3) 精神障害者

① 等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

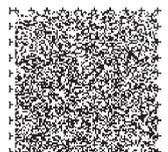
精神障害者保健福祉手帳の所持者の推移をみると、毎年度、増加傾向にあり、平成30年度の8,440人から、令和4年度には11,568人となっており、5年間で約1.4倍となっています。また、等級では2級が最も多くなっています。

図3-1 等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移



(人)

等級	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全 体	全体	8,440	9,162	9,676	10,517	11,568
	1級	1,471	1,496	1,517	1,561	1,643
	2級	4,737	5,172	5,556	6,061	6,655
	3級	2,232	2,494	2,603	2,895	3,270



②精神障害者通院医療費公費負担患者数の推移

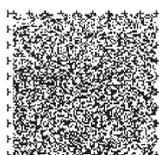
精神障害者の通院医療費公費負担患者数の推移をみると、総数では、平成30年度の16,028人から、令和4年度には19,230人となっています。

なお、令和4年度の内訳をみると、「うつ病等」が9,502人で最も多く、次いで「統合失調症」が4,220人となっています。

図3-2 病名別精神障害者通院医療費公費負担患者数の推移

(人)

病名	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総数		16,028	16,759	18,791	18,210	19,230
統合失調症		4,034	4,112	4,318	4,151	4,220
うつ病等		7,741	8,233	9,089	8,884	9,502
脳器質性精神障害		580	585	721	629	666
中毒性精神障害		311	315	365	327	352
その他の精神疾患		848	962	1,200	1,209	1,410
知的障害		64	66	73	73	77
人格障害		80	76	84	72	75
精神神経症		1,132	1,177	1,330	1,339	1,423
てんかん		869	905	1,015	1,011	1,038
その他		369	328	596	515	467



2 実態調査結果

出典：「千葉市障害者計画・障害福祉計画策定に係る実態調査報告書―障害者生活実態・意向調査―（令和5年3月）」

（１）調査の目的

福祉・保健・医療・雇用・教育・生活環境など、幅広い分野を対象とした障害者施策の総合的推進と、障害福祉サービス等の必要見込量とその確保のための方策を策定するためには、障害者等の生活実態と意向を明らかにするための基礎調査が不可欠です。

この調査は、障害者基本法第11条第3項に規定する障害者計画、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下、障害者総合支援法とする。）第88条に規定する障害福祉計画及び児童福祉法第33条の20に規定する障害児福祉計画の次期計画の策定に係る必要なデータを収集し、障害者施策の一層の推進を図ることを目的として実施しました。

（２）アンケート調査の実施方法

①調査対象

千葉市に住所のある人で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している人及び千葉市療育センターに通っている人の中から対象者を選定しました。

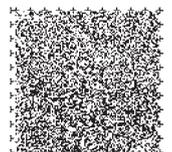
対象者	分類	人数	抽出数	対象者の選定方法
Ⅰ 在宅の人 (43,344名)	身体障害	29,660	1,500	身体障害者手帳をお持ちの18歳以上の人から抽出
	知的障害	5,449	500	療育手帳をお持ちの18歳以上の人から抽出
	精神障害	8,235	700	精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している人から抽出
Ⅱ 施設に入所している人 (718名)		718	600	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、千葉市から障害者施設に入所している人から抽出
Ⅲ 18歳未満の人 と保護者の人 (2,854名)	身体障害	585	500	身体障害者手帳をお持ちの18歳未満の人から抽出
	知的障害	2,269	500	療育手帳をお持ちの18歳未満の人から抽出
Ⅳ 発達障害のある人 (482名)		482	250	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳以上の人のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある人
Ⅴ 発達障害のある18歳未満 の人とその保護者の人 (83名)		23	23	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳未満の人のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある人（全数）
		60	50	千葉市療育センター「すぎのこルーム」に通っている人に対して、一定期間配布
Ⅵ サービス事業所 (1,193か所)		1,193	100	千葉市内に住所のある障害福祉サービス事業所から抽出

②調査期間

令和4年12月13日～令和4年12月27日

③調査方法

対象の人及び事業所に郵送（一部窓口配布）で調査票を配布し、無記名で郵送回収しました。

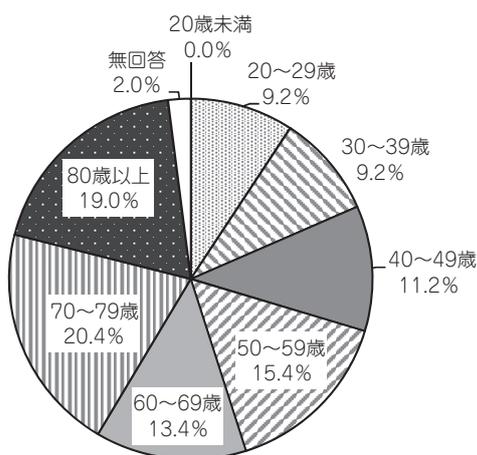


(3) 障害者ご本人について

① 年齢

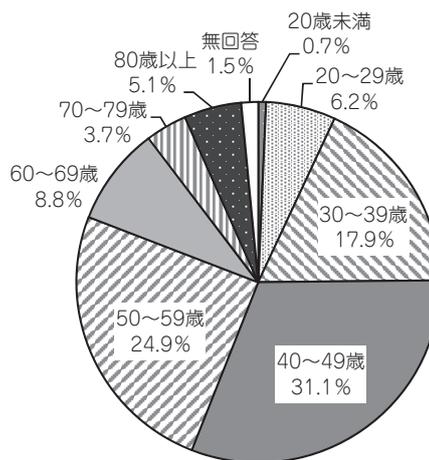
在宅の人(18歳以上)では「70～79歳」、施設に入所している人(18歳以上)では「40～49歳」、18歳未満の人では「15歳以上」、発達障害のある人(18歳以上)では「20～29歳」、発達障害のある人(18歳未満)では「3～5歳及び15歳以上」が最も多くなっています。

【在宅の人(18歳以上)】



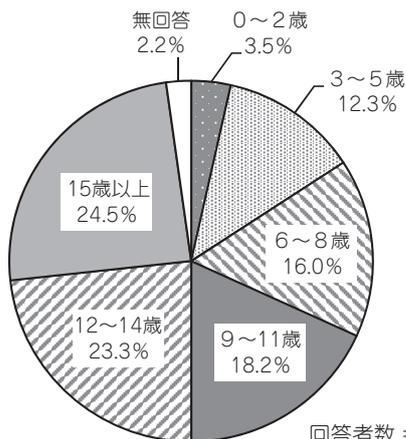
回答者数 = 945

【施設に入所している人(18歳以上)】



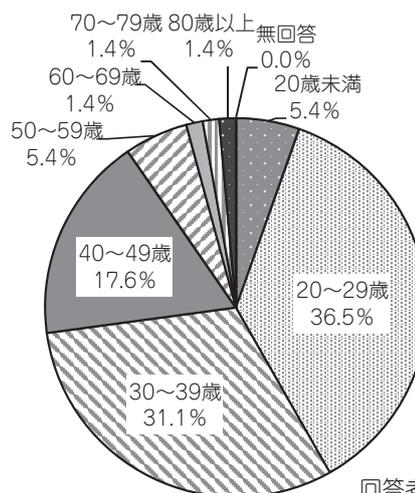
回答者数 = 273

【18歳未満の人】

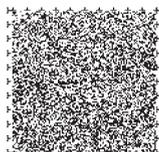


回答者数 = 318

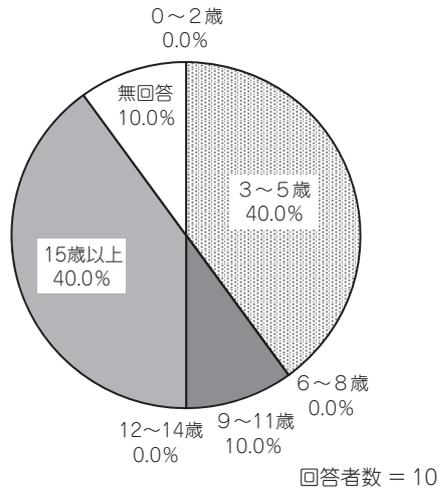
【発達障害のある人(18歳以上)】



回答者数 = 74



【発達障害のある人（18歳未満）】

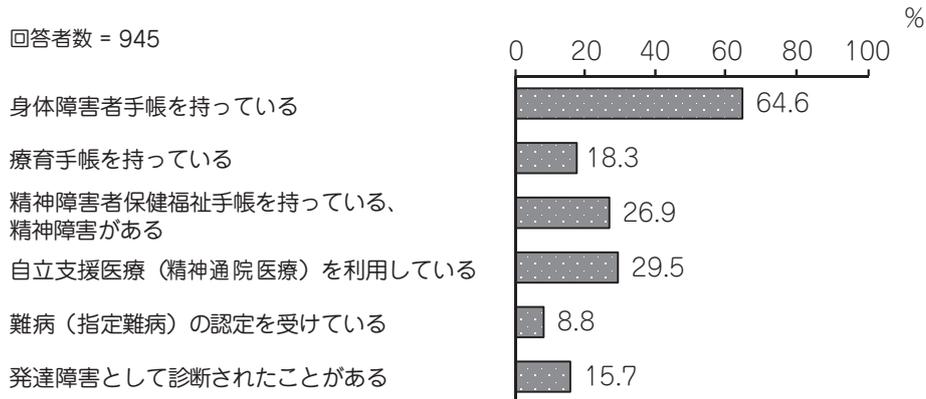


②障害の種別

在宅の人(18歳以上)では「身体障害者手帳」、施設に入所している人(18歳以上)及び18歳未満の人では「療育手帳」が最も多くなっています。(複数回答)

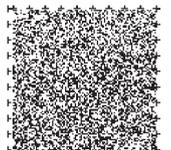
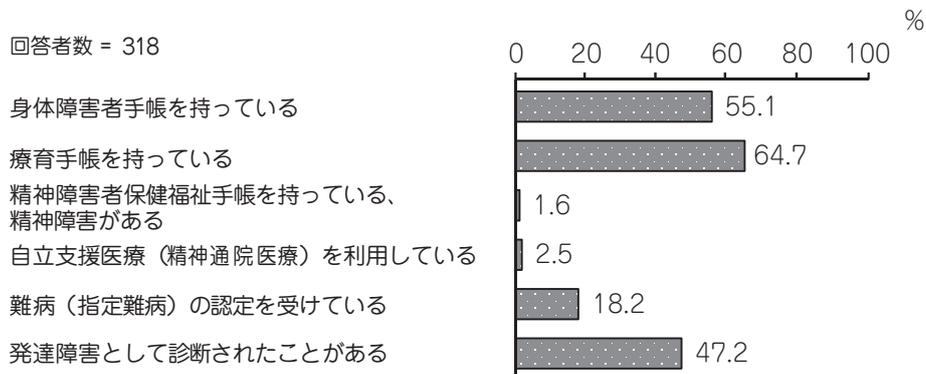
【在宅の人（18歳以上）】

回答者数 = 945



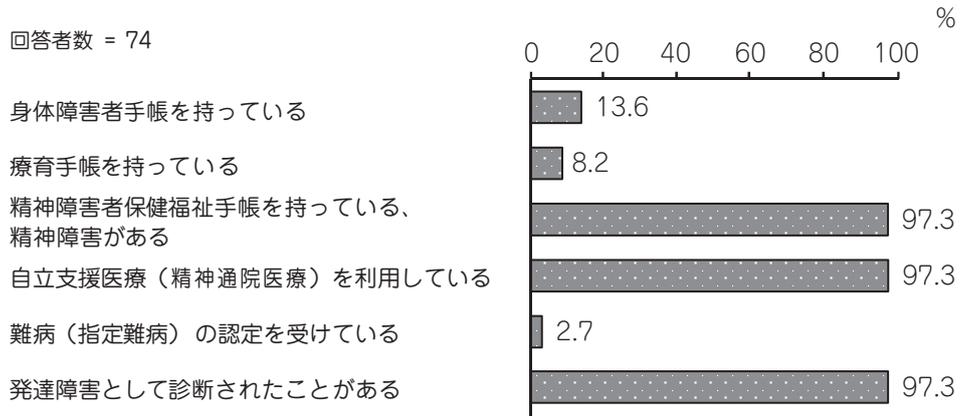
【18歳未満の人】

回答者数 = 318



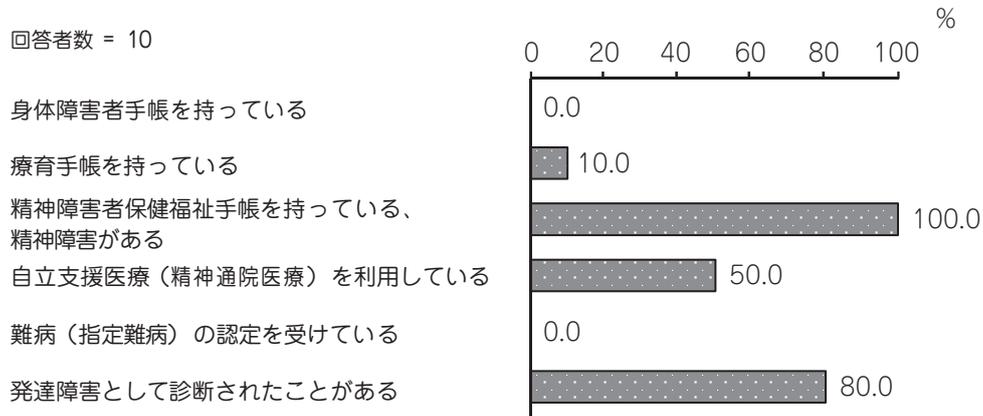
【発達障害のある人（18歳以上）】

回答者数 = 74



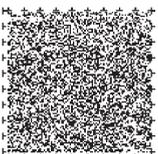
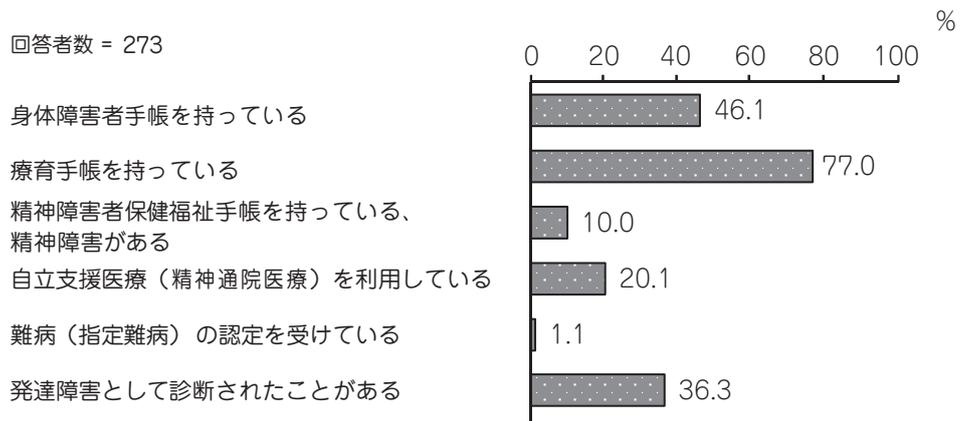
【発達障害のある人（18歳未満）】

回答者数 = 10



【施設に入所している人（18歳以上）】

回答者数 = 273

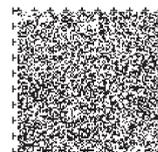
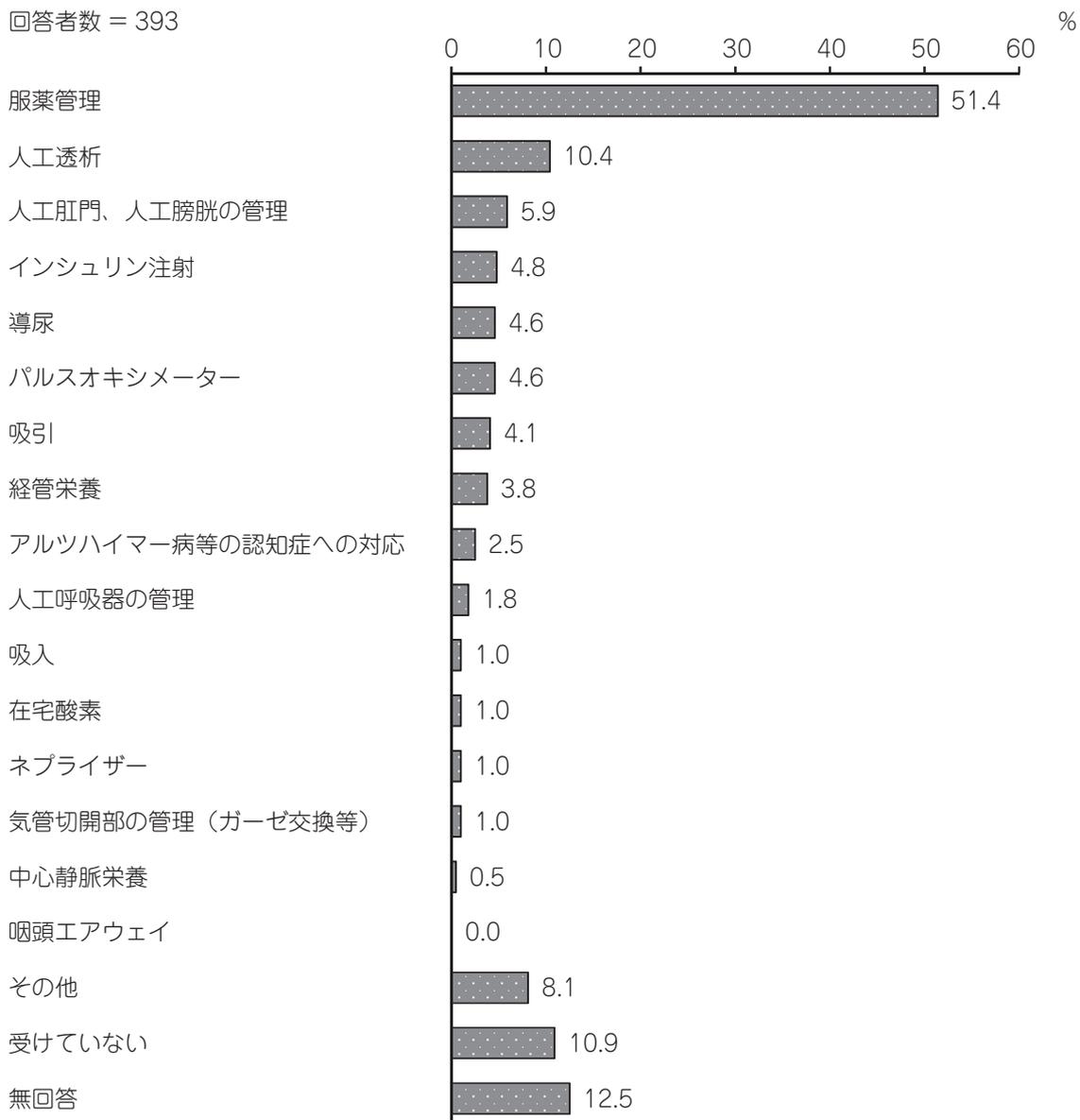


(4) 医療的ケアの種類

在宅の人(18歳以上)、18歳未満の人、施設に入所している人(18歳以上)、いずれも「服薬管理」が最も多くなっています。(複数回答)

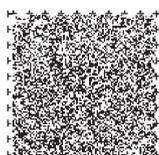
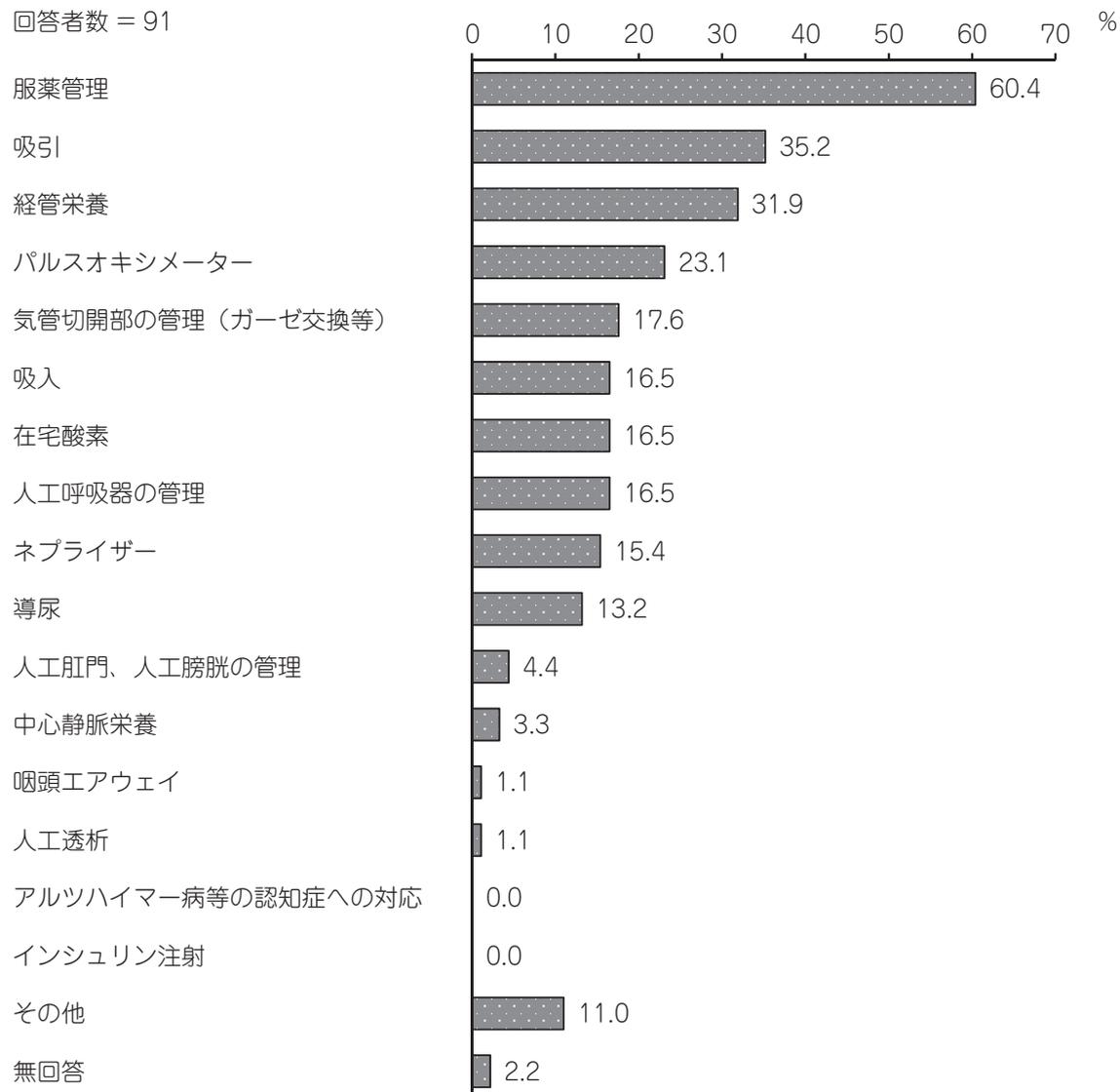
【在宅の人(18歳以上)】

回答者数 = 393



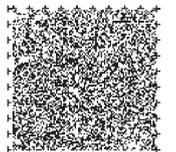
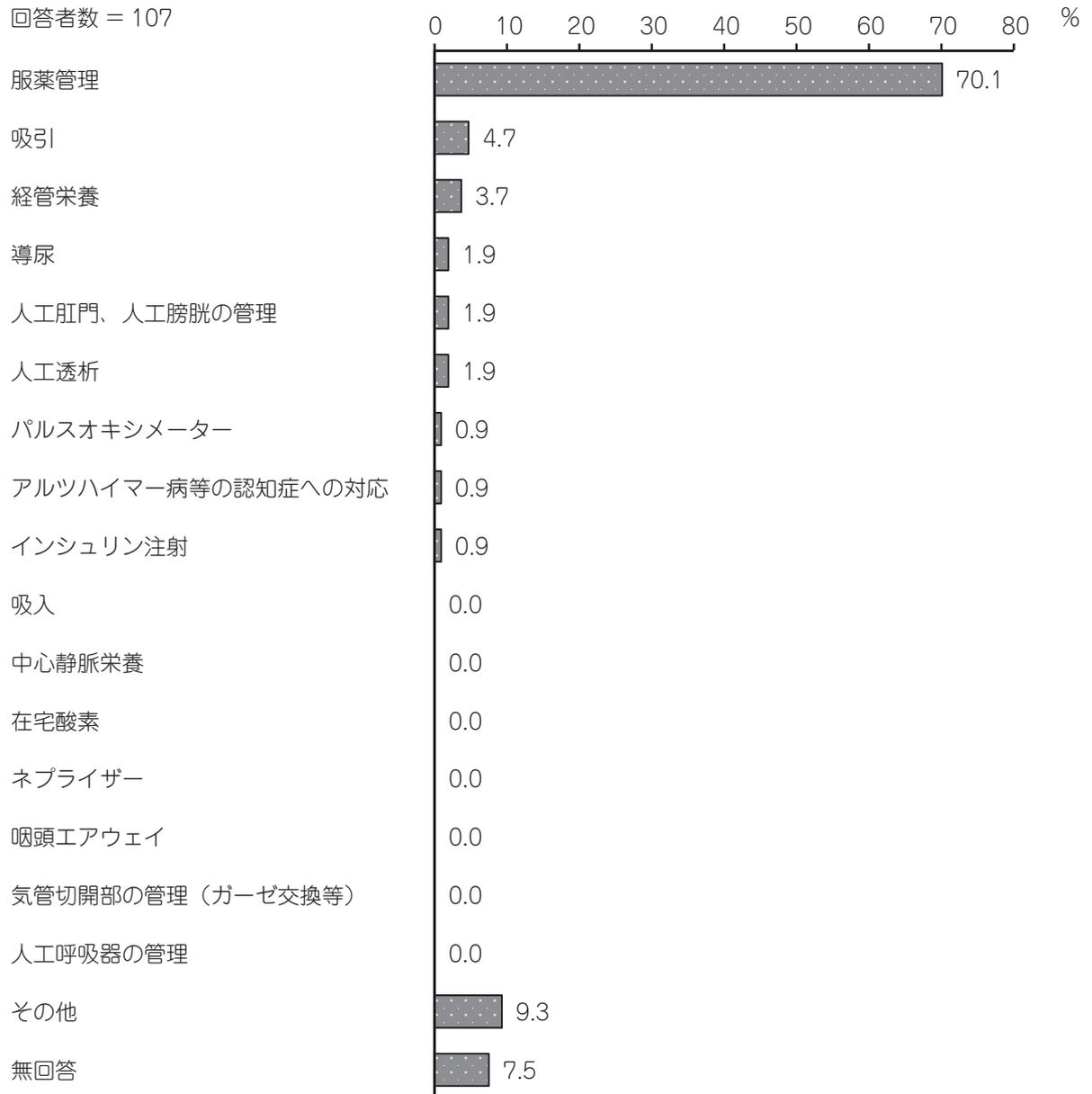
【18歳未満の人】

回答者数 = 91



【施設に入所している人（18歳以上）】

回答者数 = 107



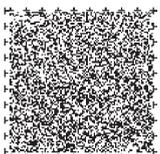
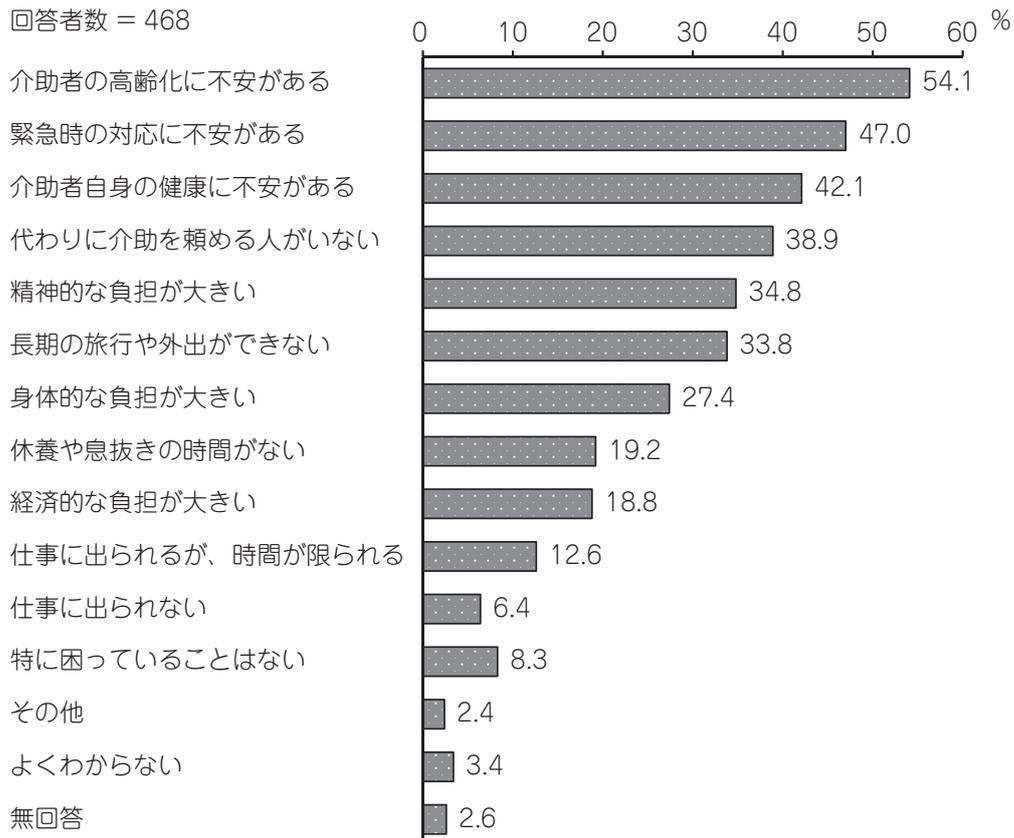
(5) ご家族や介助者について

① 主な介助者が困っていること

在宅の人(18歳以上)では「介助者の高齢化に不安がある」、18歳未満の人では「緊急時の対応に不安がある」、発達障害のある人(18歳以上)、発達障害のある人(18歳未満)では「精神的な負担が大きい」が最も多くなっています。(複数回答)

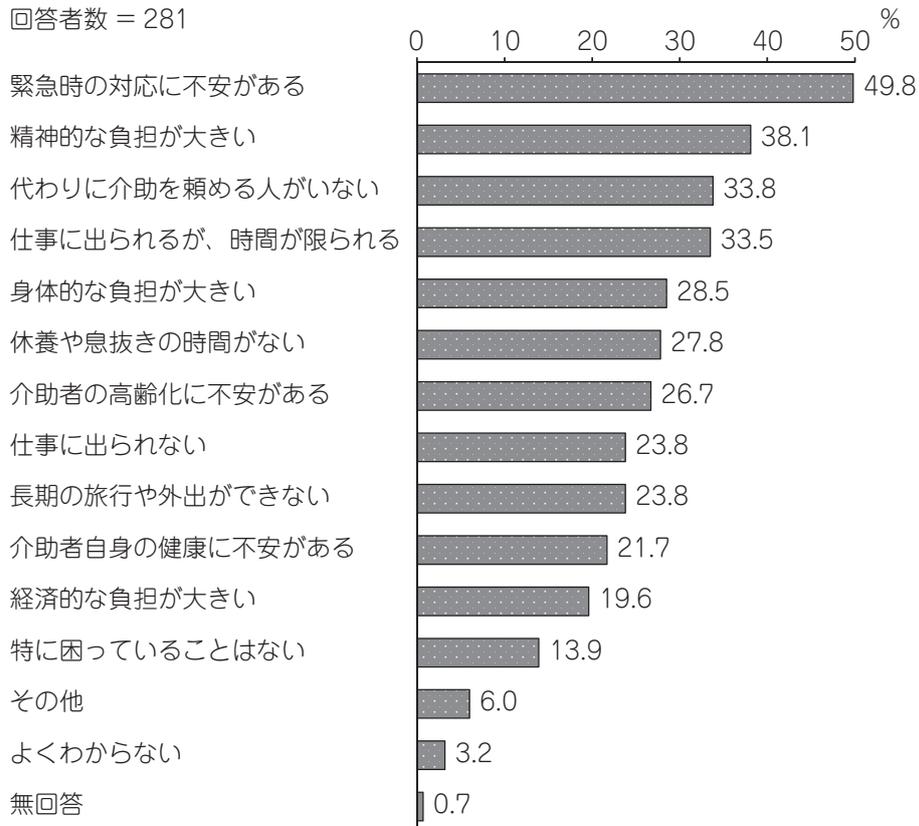
【在宅の人(18歳以上)】

回答者数 = 468



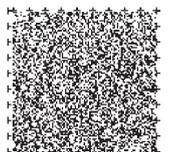
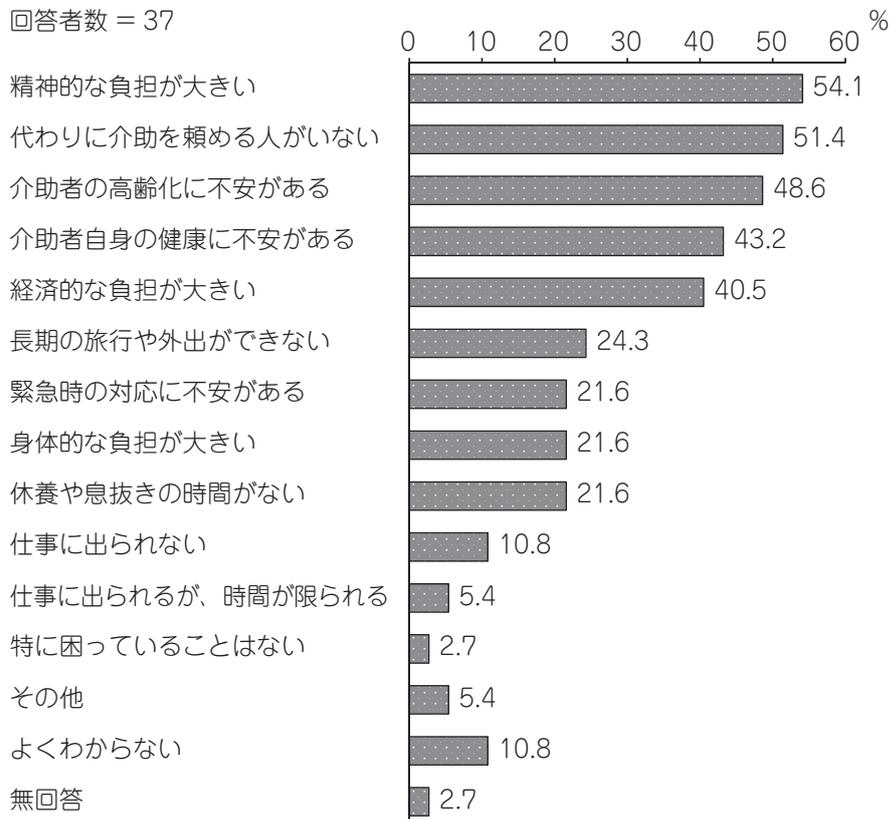
【18歳未満の人】

回答者数 = 281



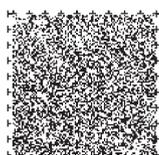
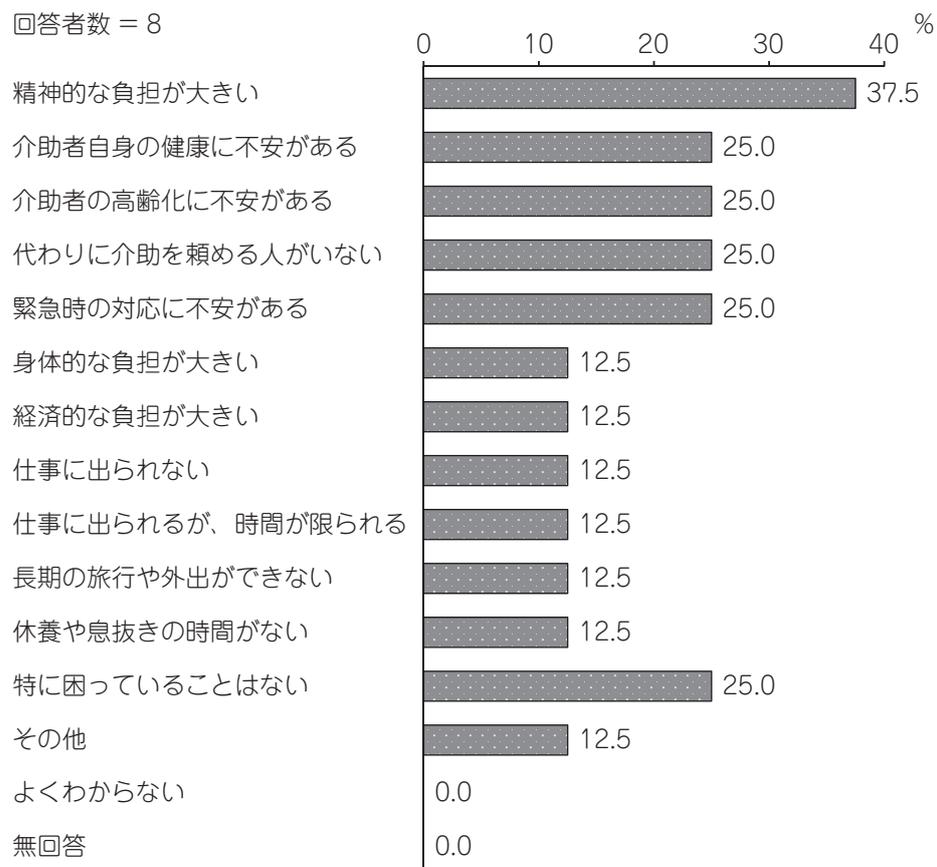
【発達障害のある人（18歳以上）】

回答者数 = 37



【発達障害のある人（18歳未満）】

回答者数 = 8

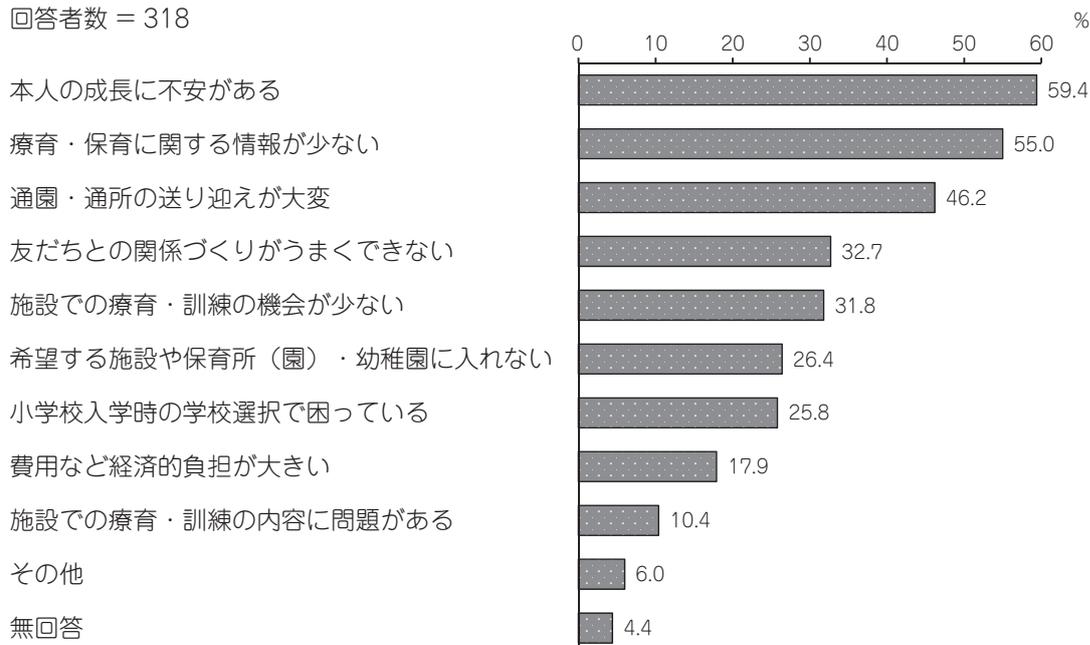


(6) 療育・保育について困っていること

18歳未満の人では「本人の成長に不安がある」、発達障害のある人(18歳未満)では「療育・保育に関する情報が少ない」、「友だちとの関係づくりがうまくできない」が最も多くなっています。(複数回答)

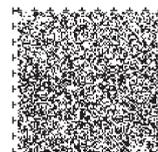
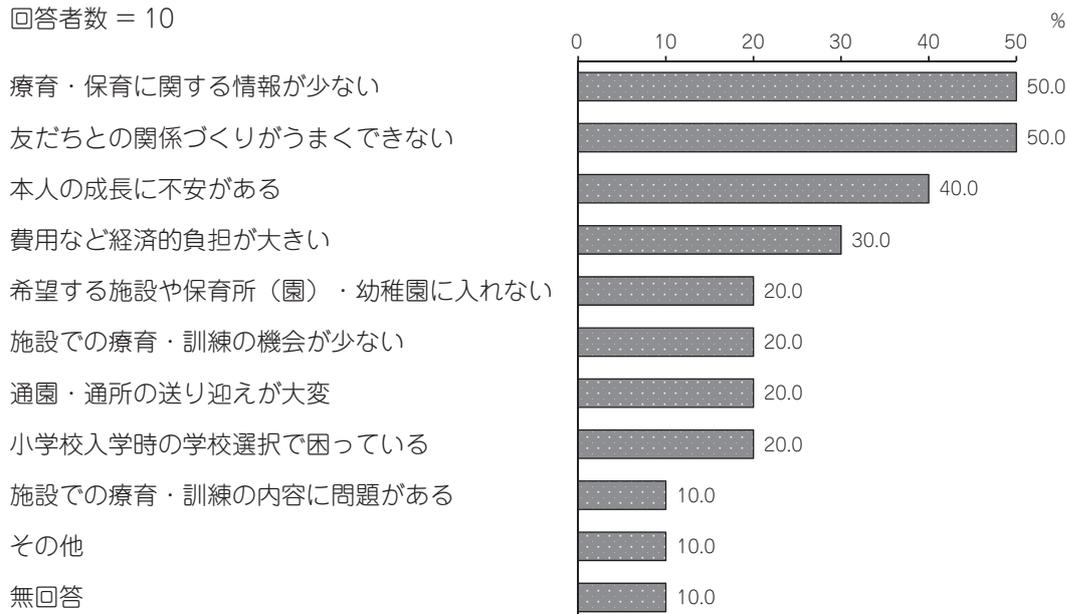
【18歳未満の人】

回答者数 = 318



【発達障害のある人(18歳未満)】

回答者数 = 10



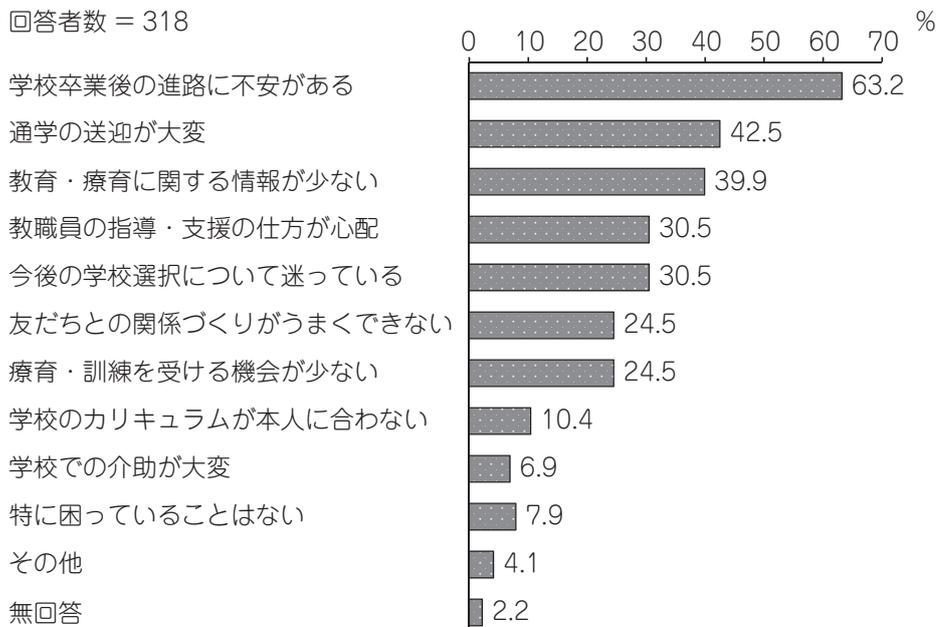
(7) 学校・教育について

① 学校・教育について困っていること

18歳未満の人では「学校卒業後の進路に不安がある」、発達障害のある人（18歳未満）では「友だちとの関係づくりがうまくできない」が最も多くなっています。（複数回答）

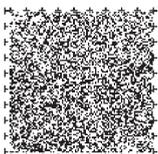
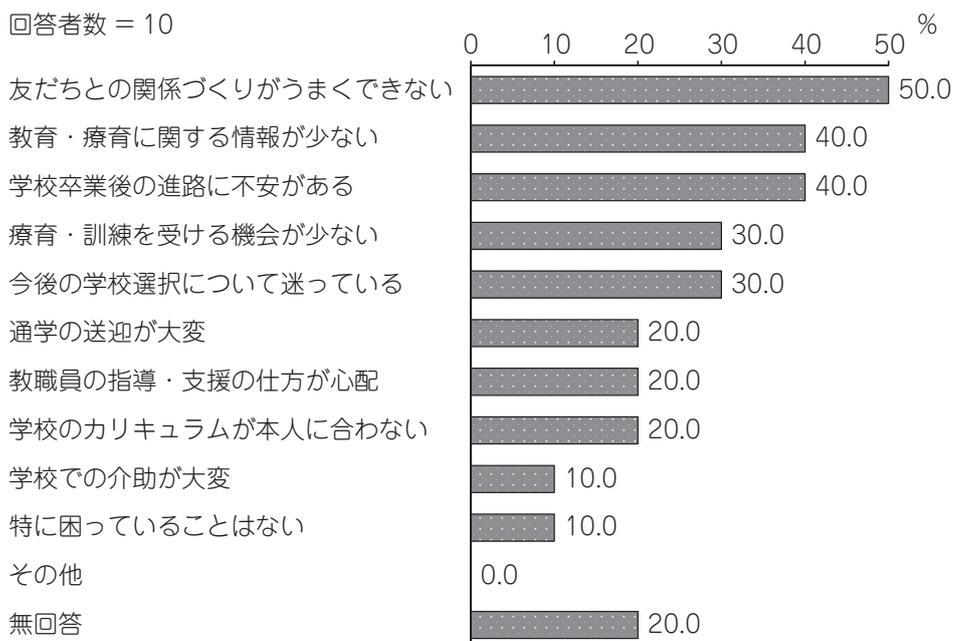
【18歳未満の人】

回答者数 = 318



【発達障害のある人（18歳未満）】

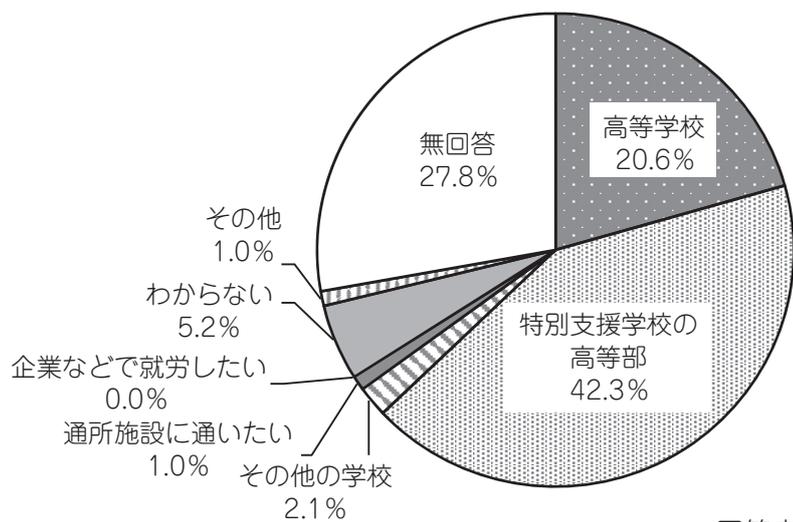
回答者数 = 10



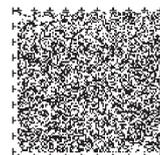
②学校卒業後の進路希望

「特別支援学校の高等部」が最も多くなっています。

【18歳未満の人】



回答者数 = 97

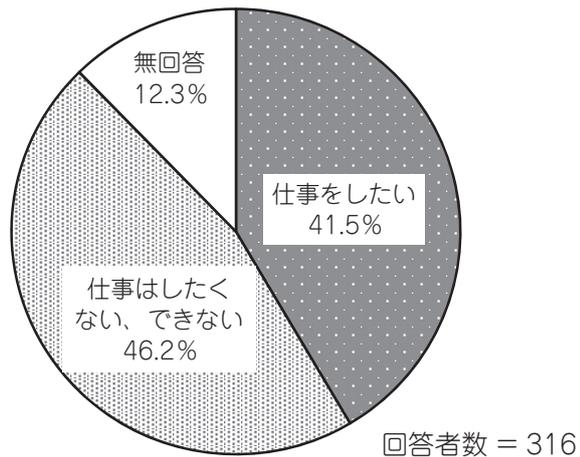


(8) 就労について

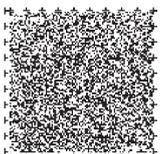
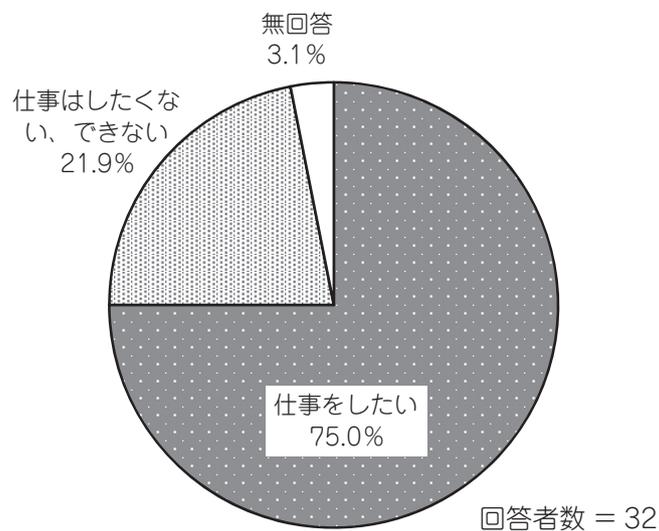
① 今後、収入を得る仕事をしたいと思うかについて

「仕事をしたい」と回答した方の割合について、在宅の人(18歳以上)は41.5%、発達障害のある人(18歳以上)は75.0%となっています。

【在宅の人(18歳以上)】



【発達障害のある人(18歳以上)】

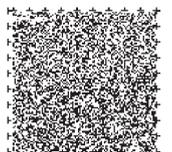
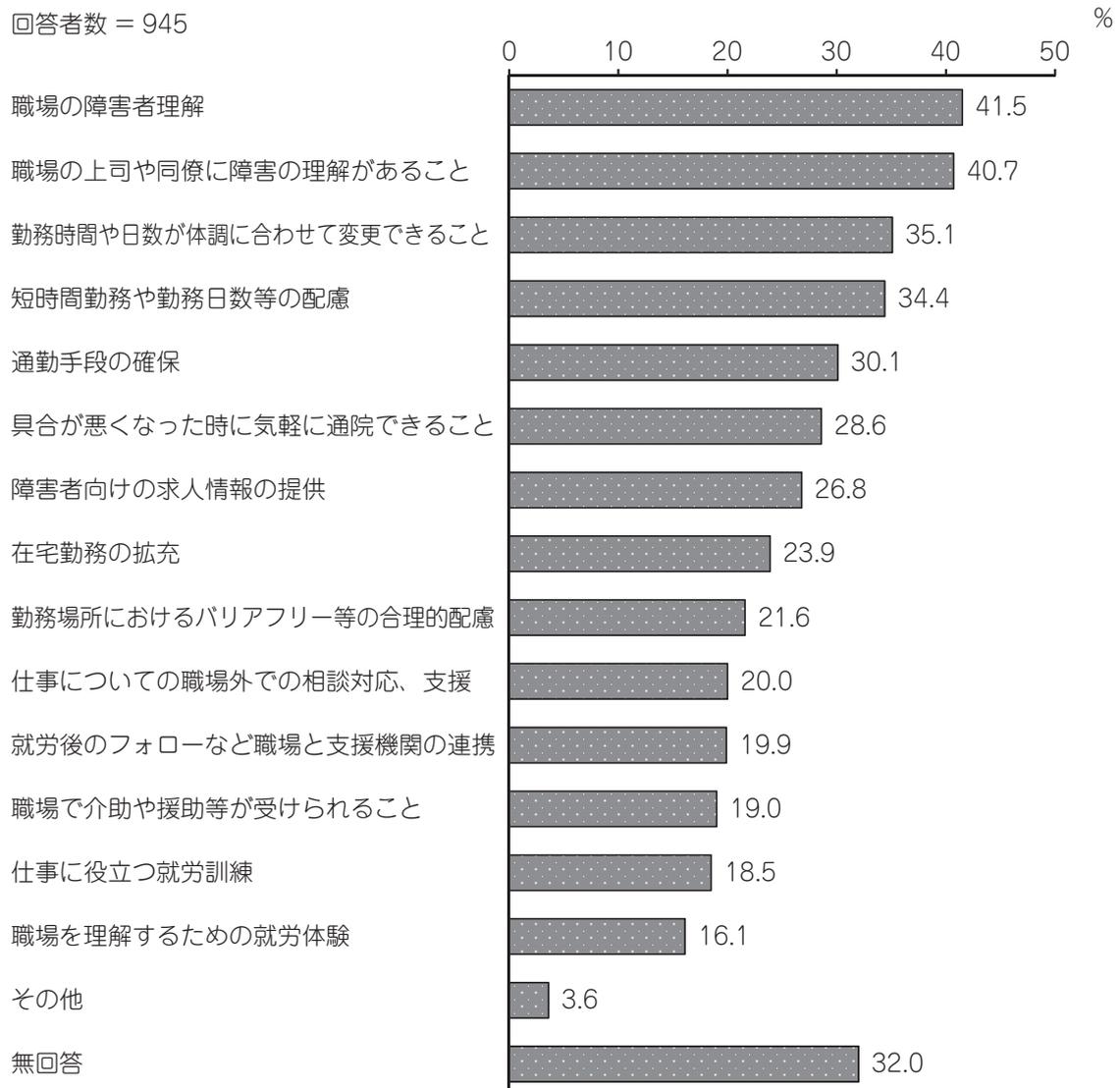


②障害者の就労支援のために必要なこと

在宅の人(18歳以上)、18歳未満の人では「職場の障害者理解」、発達障害のある人(18歳以上)、発達障害のある人(18歳未満)では「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が最も多くなっています。(複数回答)

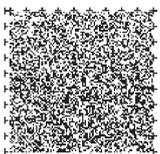
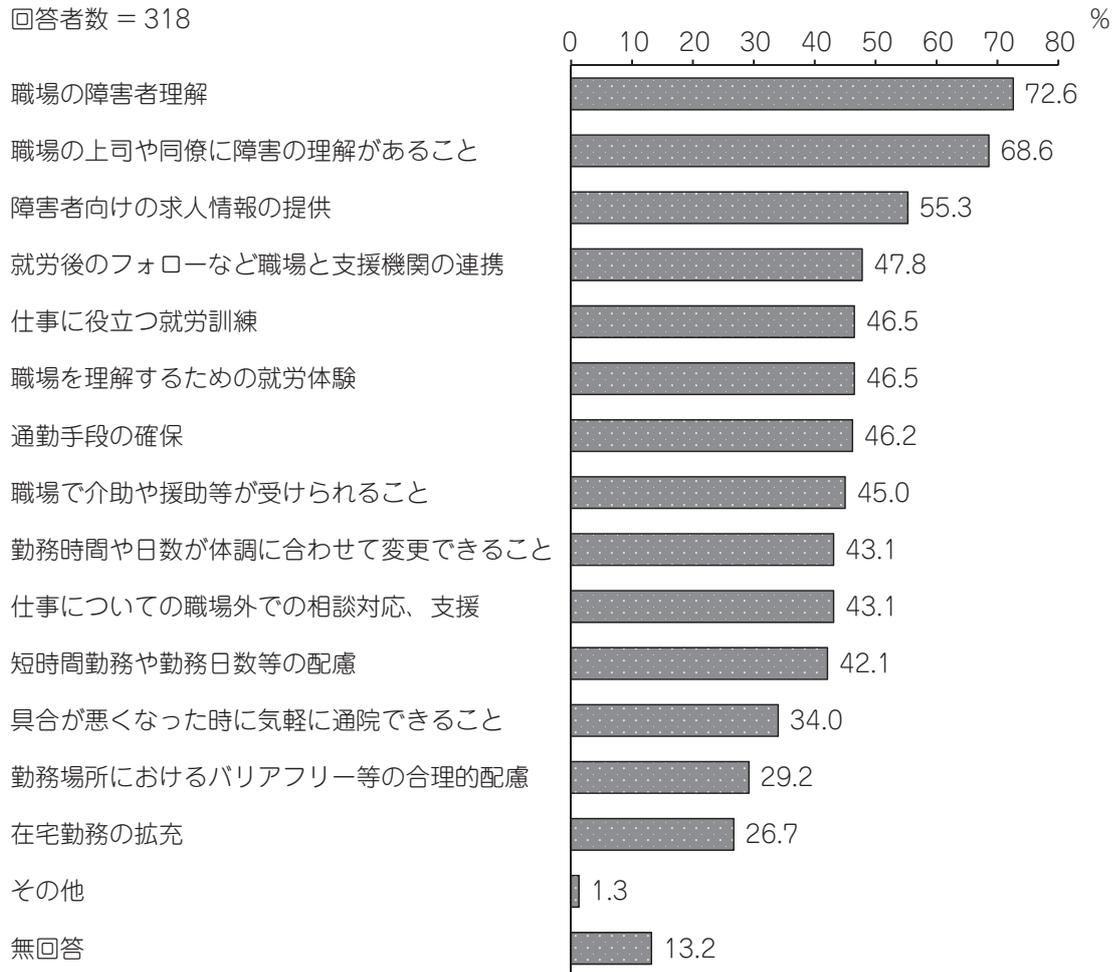
【在宅の人(18歳以上)】

回答者数 = 945



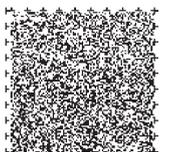
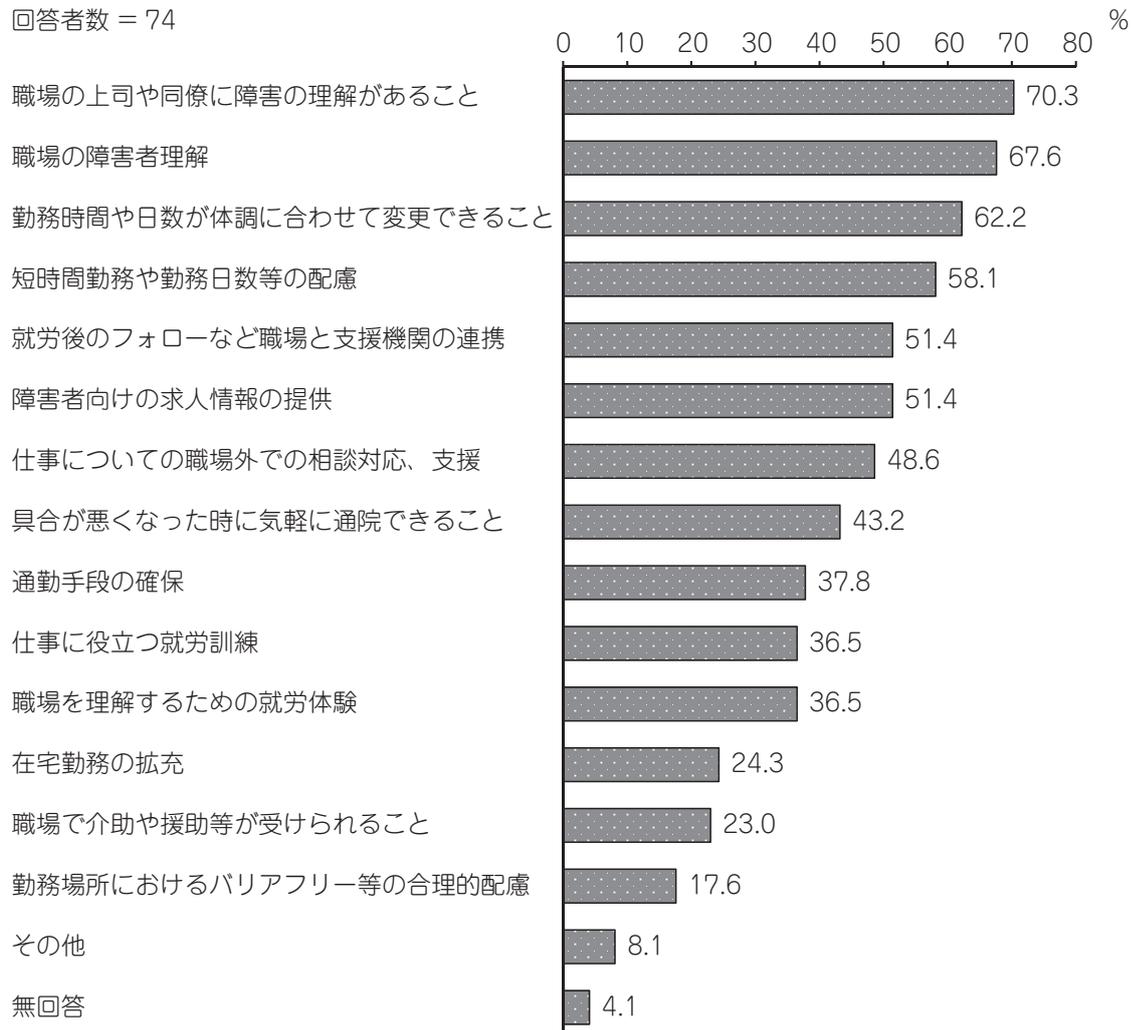
【18歳未満の人】

回答者数 = 318



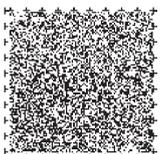
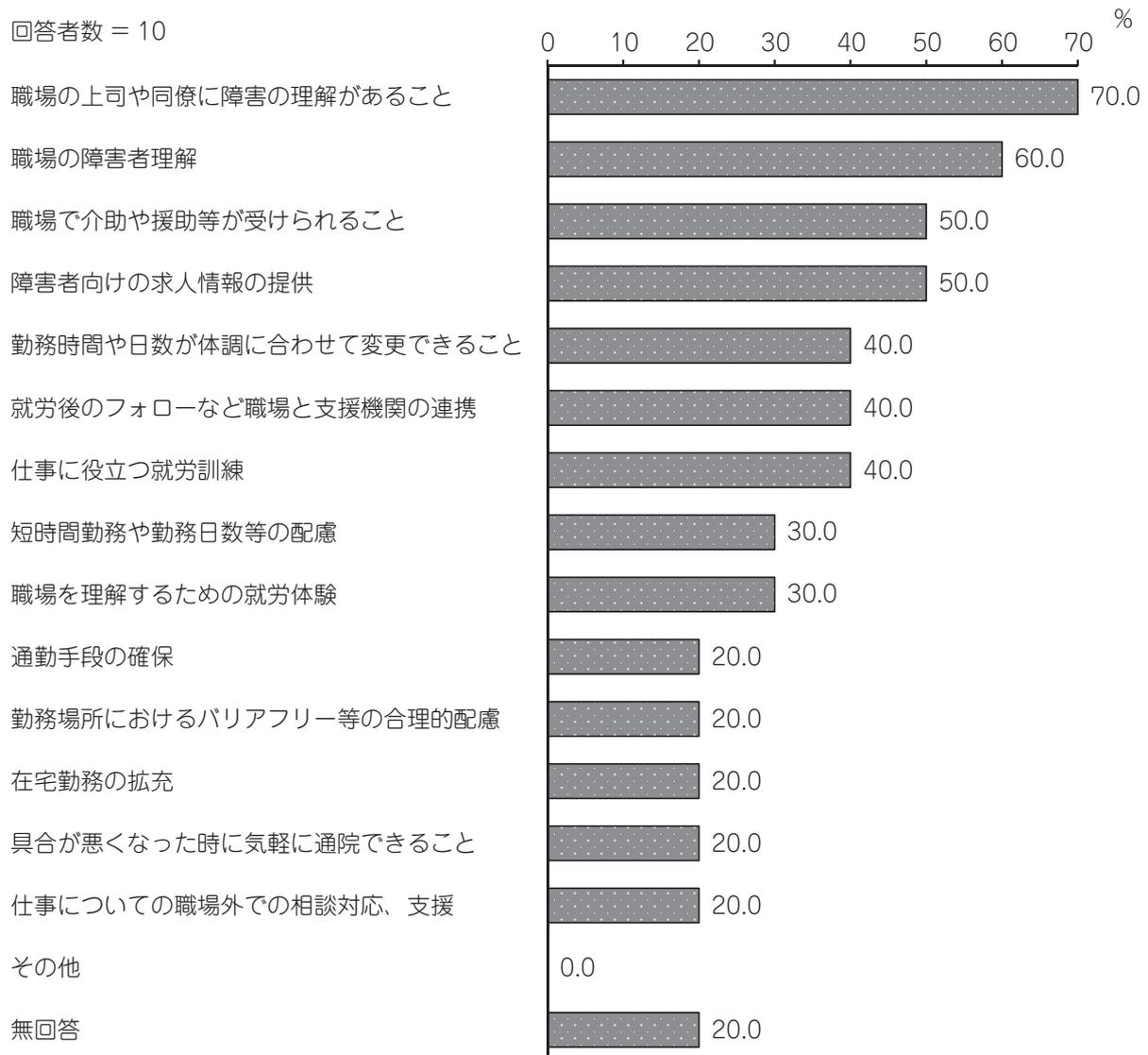
【発達障害のある人（18歳以上）】

回答者数 = 74



【発達障害のある人（18歳未満）】

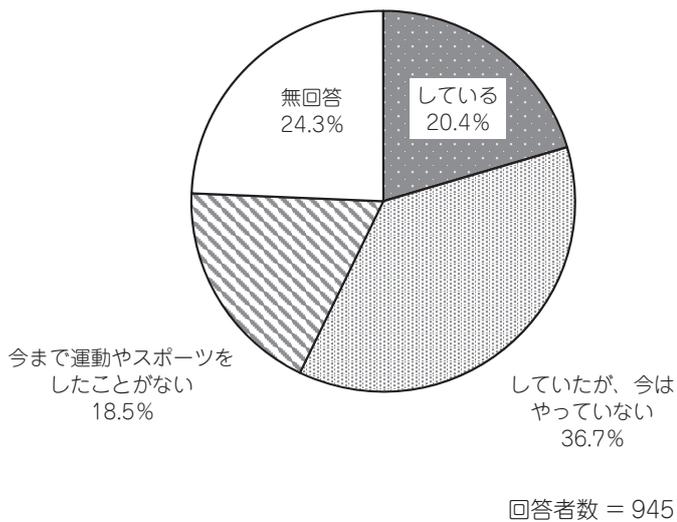
回答者数 = 10



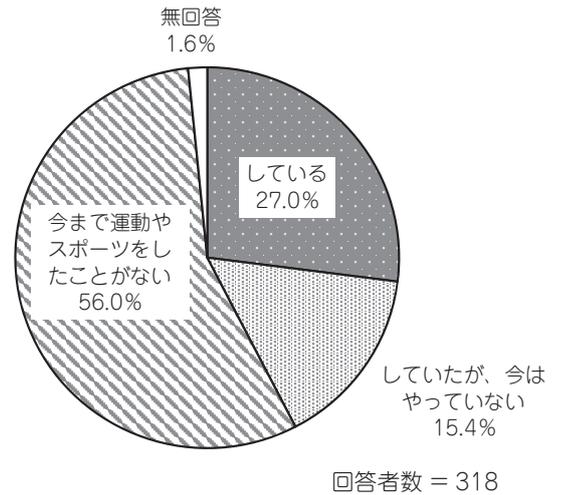
(9) 運動やスポーツの実施状況

在宅の人(18歳以上)、発達障害のある人(18歳以上)では「していたが、今はやっていない」、18歳未満の人では「今まで運動やスポーツをしたことがない」、発達障害のある人(18歳未満)では「している」が最も多くなっています。

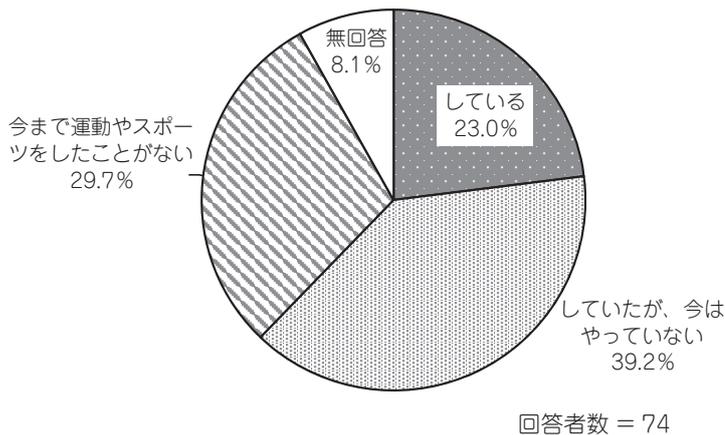
【在宅の人(18歳以上)】



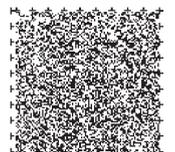
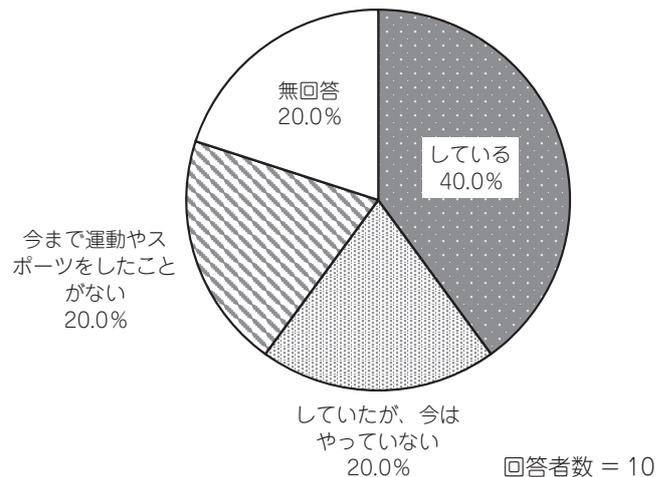
【18歳未満の人】



【発達障害のある人(18歳以上)】



【発達障害のある人(18歳未満)】

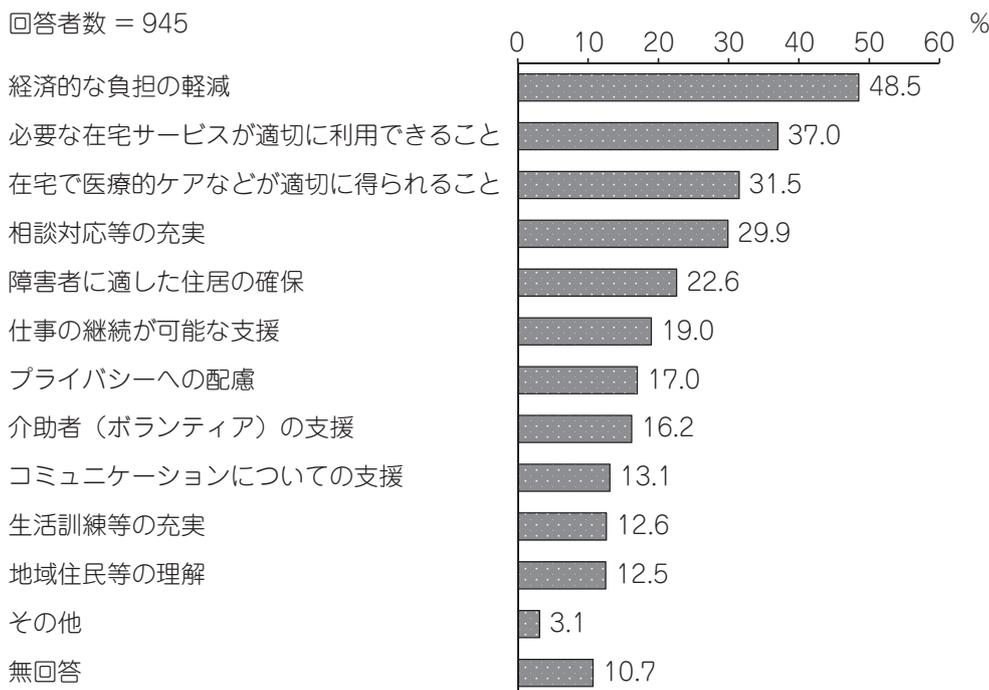


(10)希望する暮らしを送るために必要な支援

在宅の人(18歳以上)、18歳未満の人、発達障害のある人(18歳以上)では「経済的な負担の軽減」、施設に入所している人(18歳以上)では「障害者に適した住居の確保」、発達障害のある人(18歳未満)では「経済的な負担の軽減」、「相談対応等の充実」、「コミュニケーションについての支援」が最も多くなっています。(複数回答)

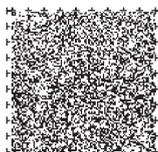
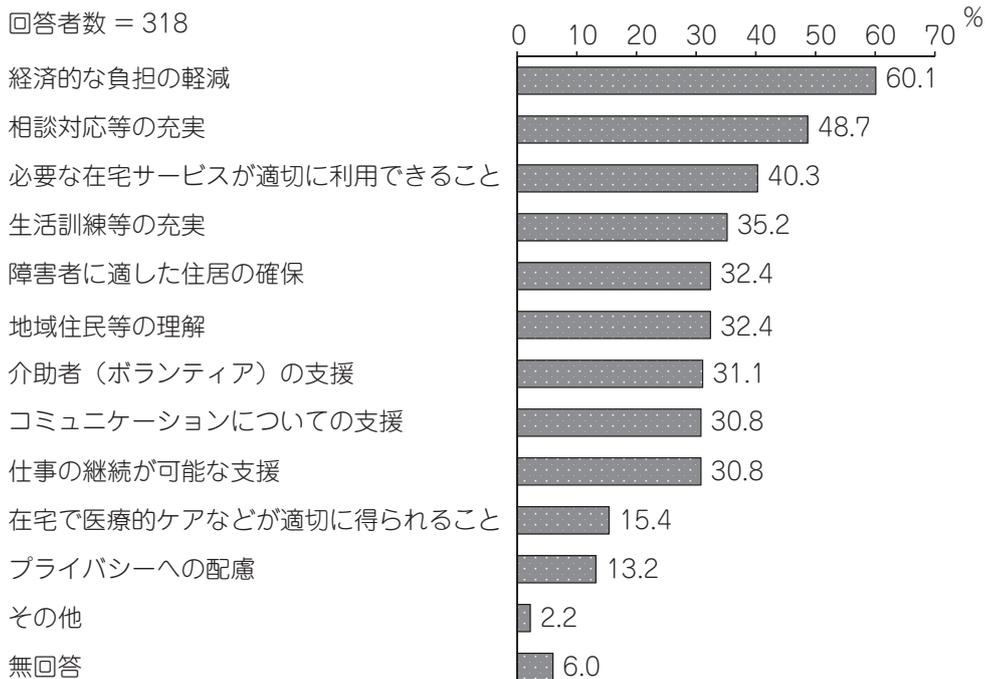
【在宅の人(18歳以上)】

回答者数 = 945



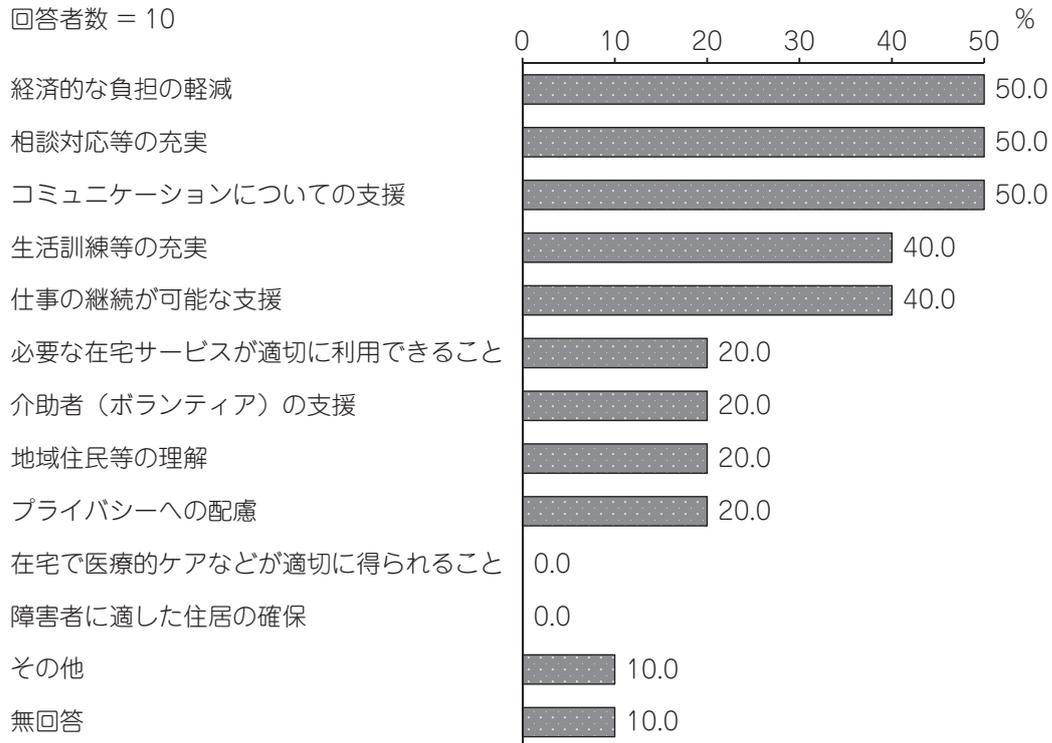
【18歳未満の人】

回答者数 = 318



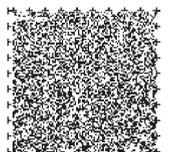
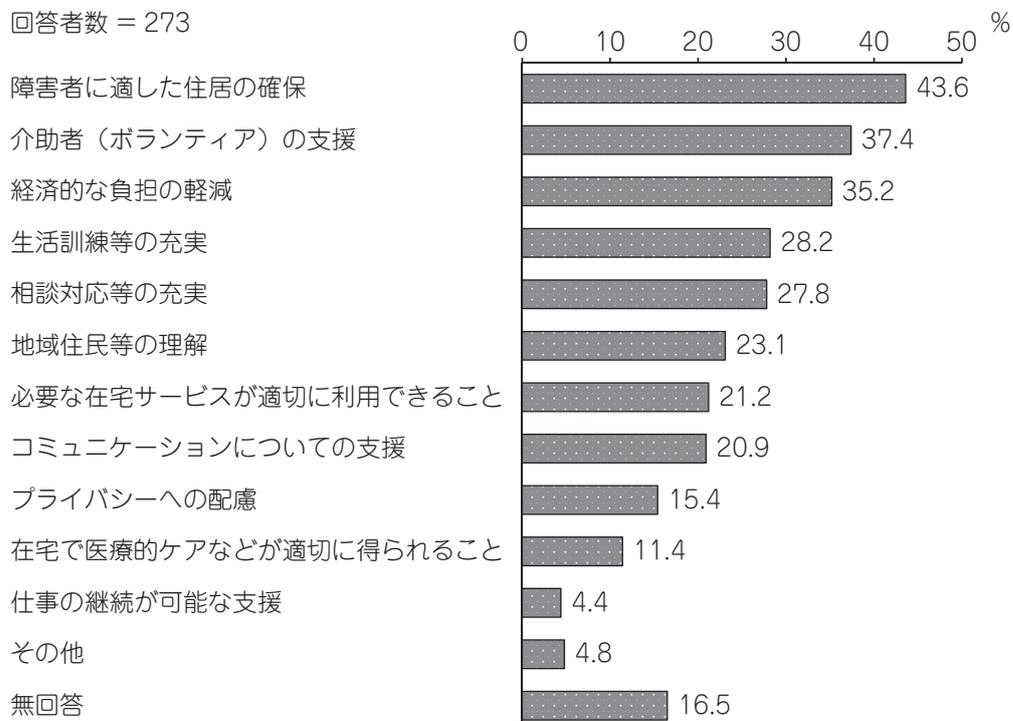
【発達障害のある人（18歳未満）】

回答者数 = 10



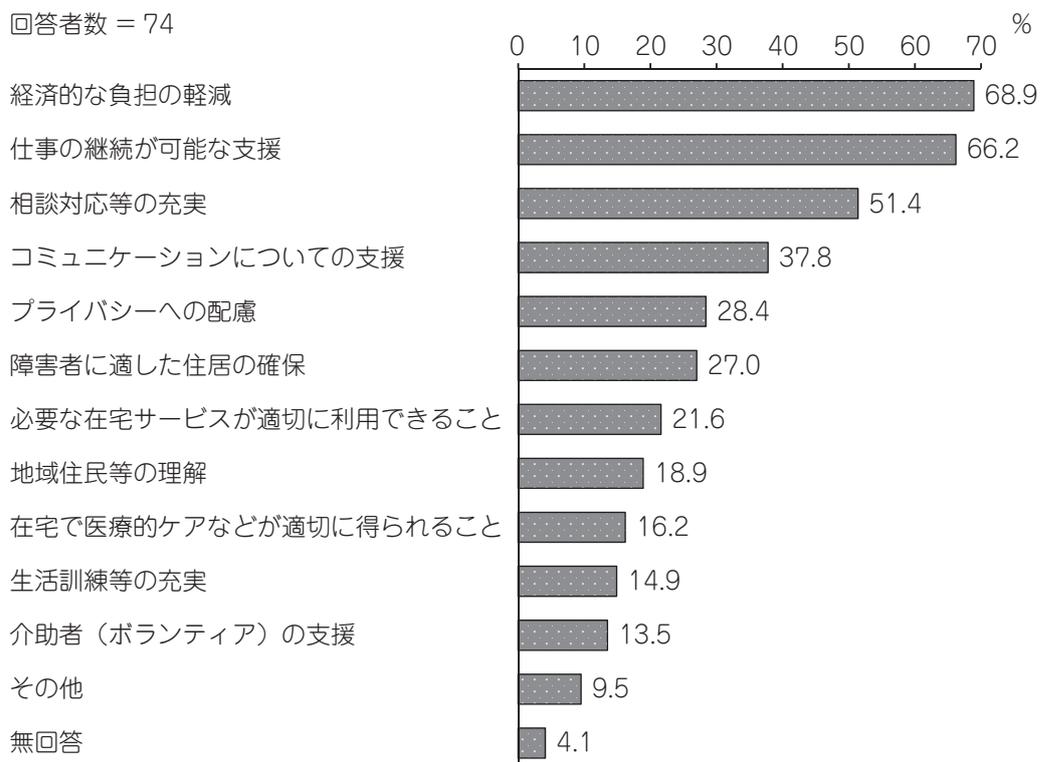
【施設に入所している人（18歳以上）】

回答者数 = 273



【発達障害のある人（18歳以上）】

回答者数 = 74



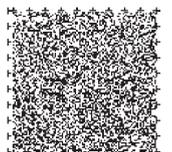
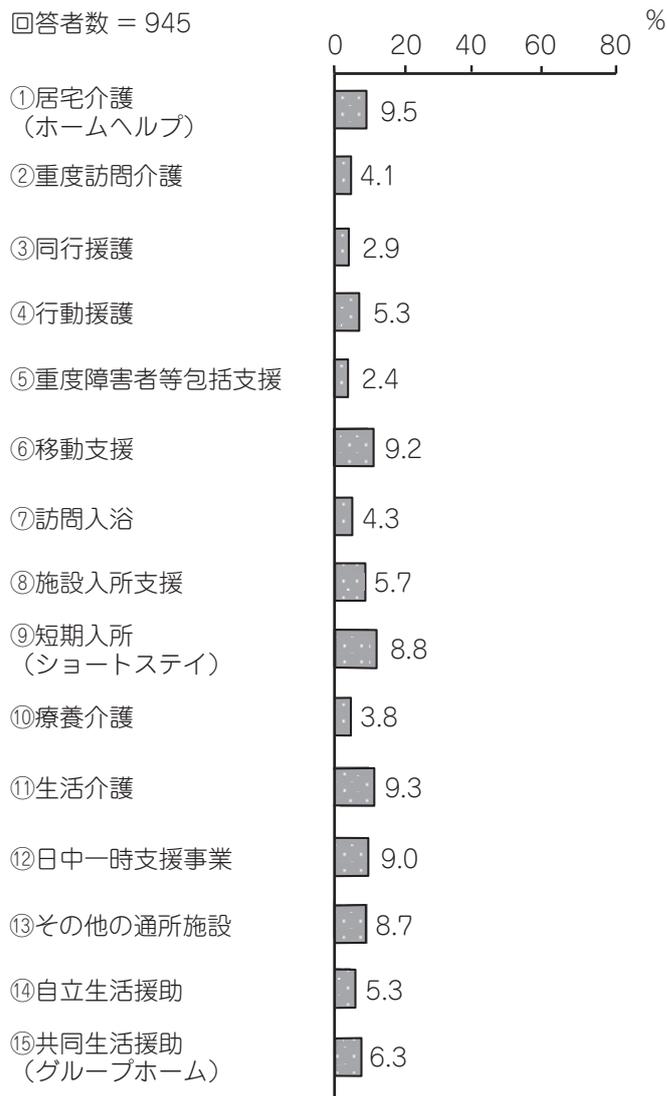
(11)サービス利用について

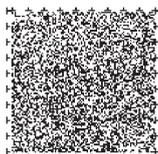
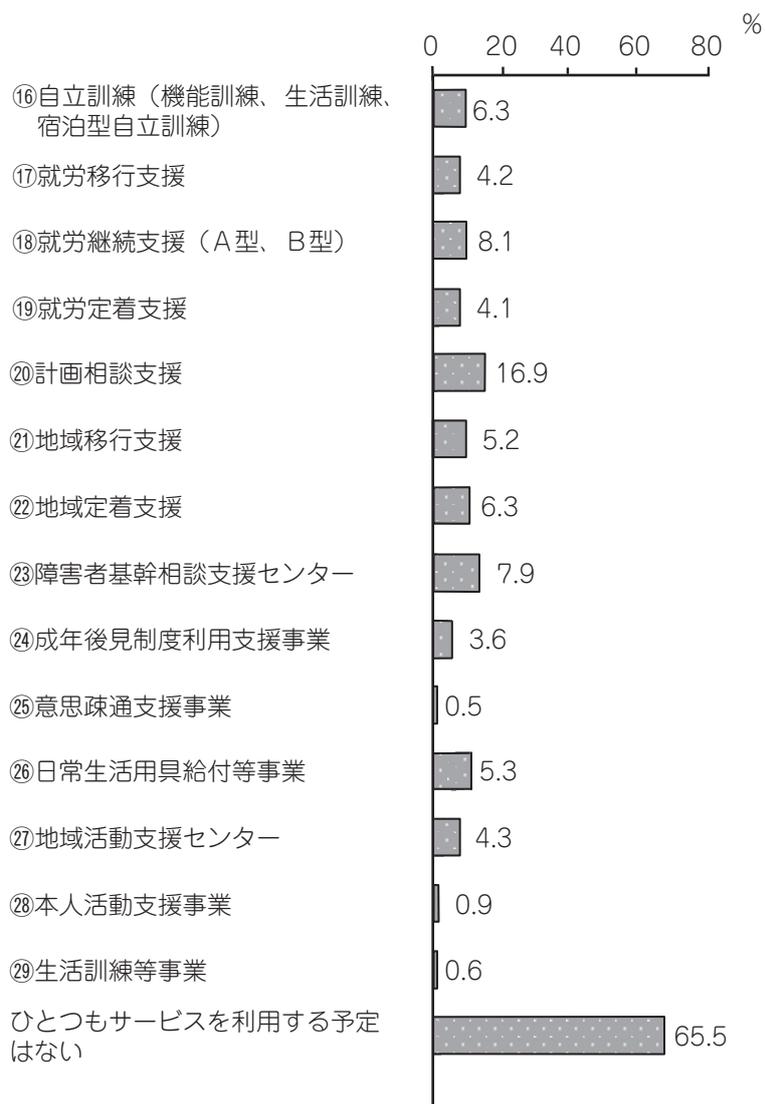
①訪問系サービスの利用意向

在宅の人(18歳以上)及び発達障害のある人(18歳以上)では「計画相談支援」、在宅の人(18歳未満)では「放課後等デイサービス」、発達障害のある人(18歳以上)及び発達障害のある人(18歳未満)では「障害児相談支援」が最も多くなっています。

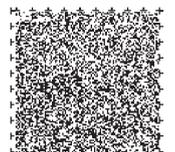
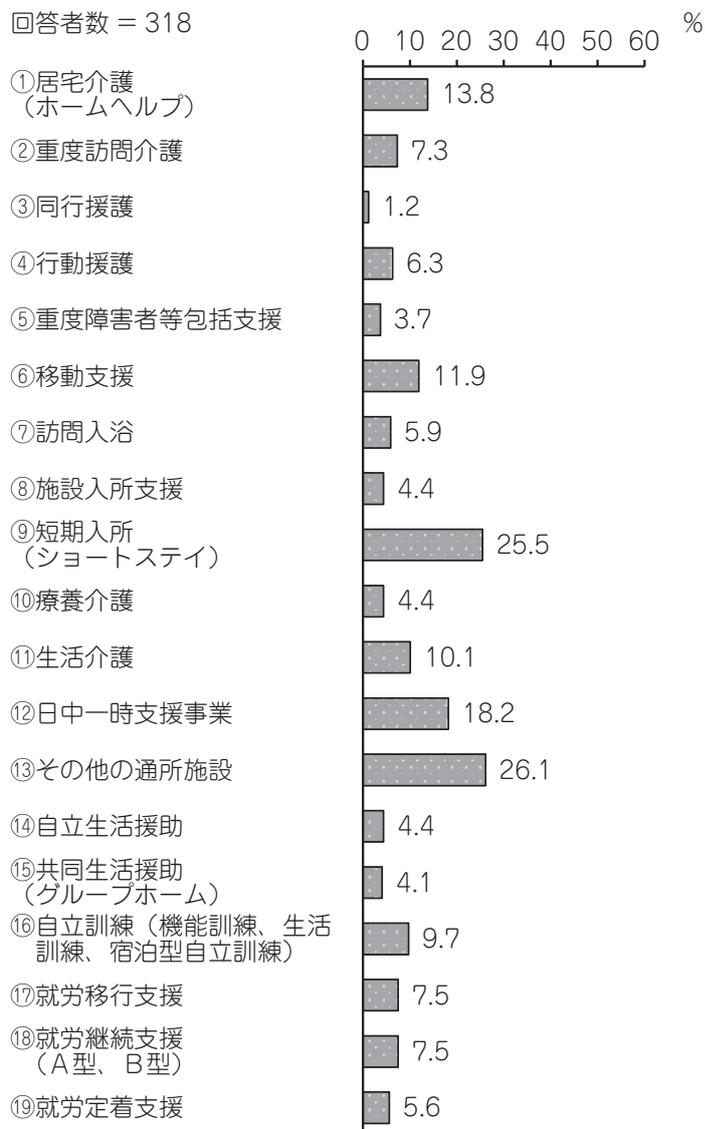
(複数回答)

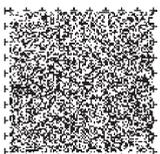
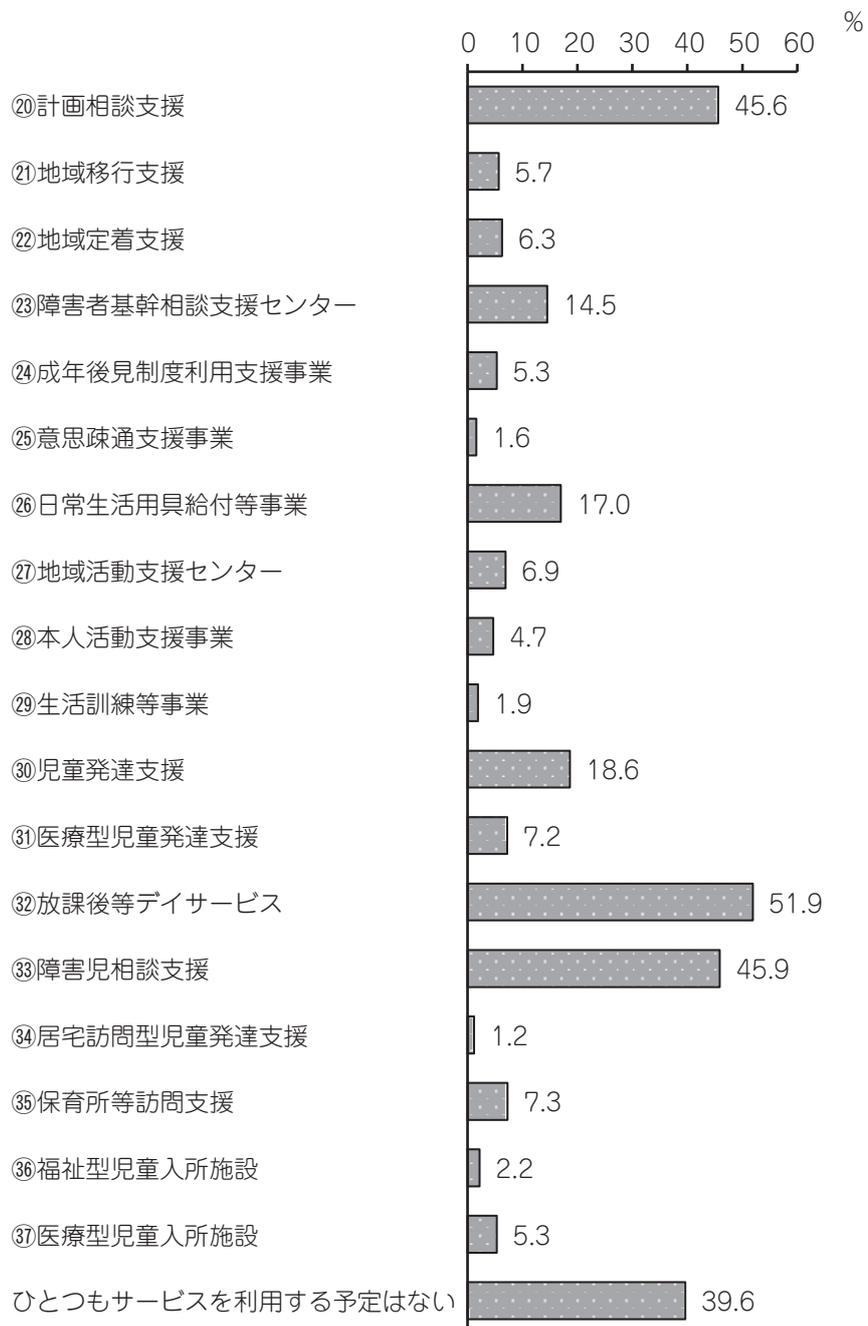
【在宅の人(18歳以上)】





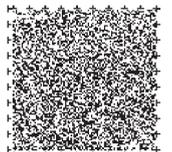
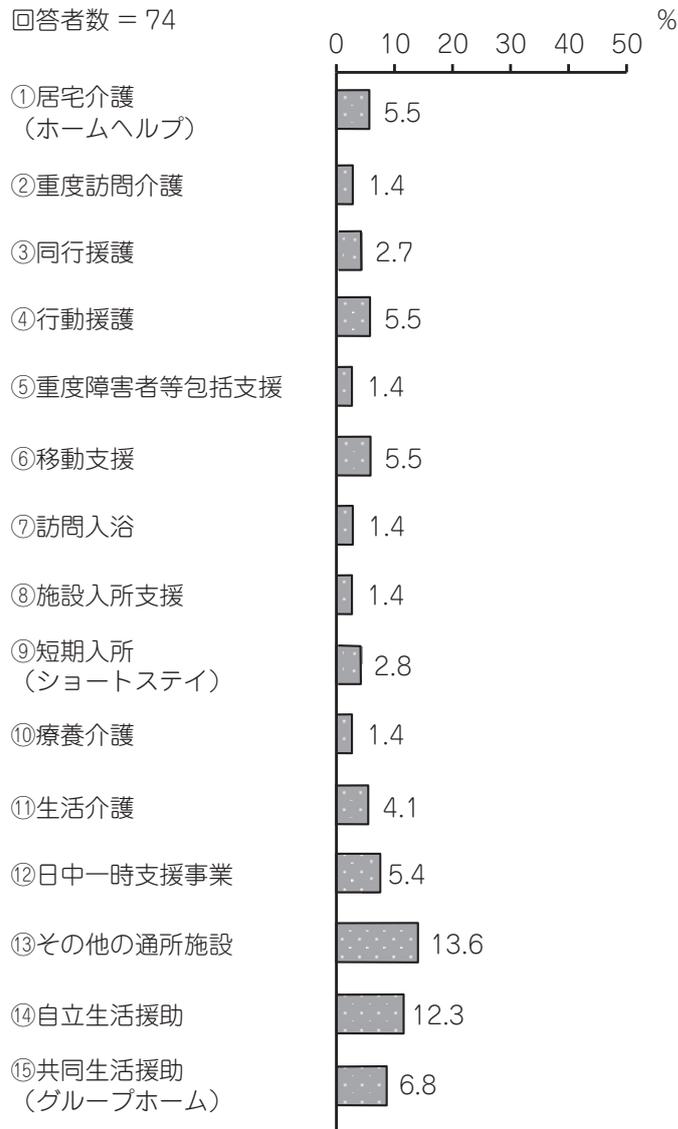
【18歳未満の人】

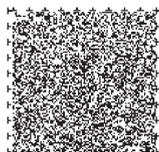
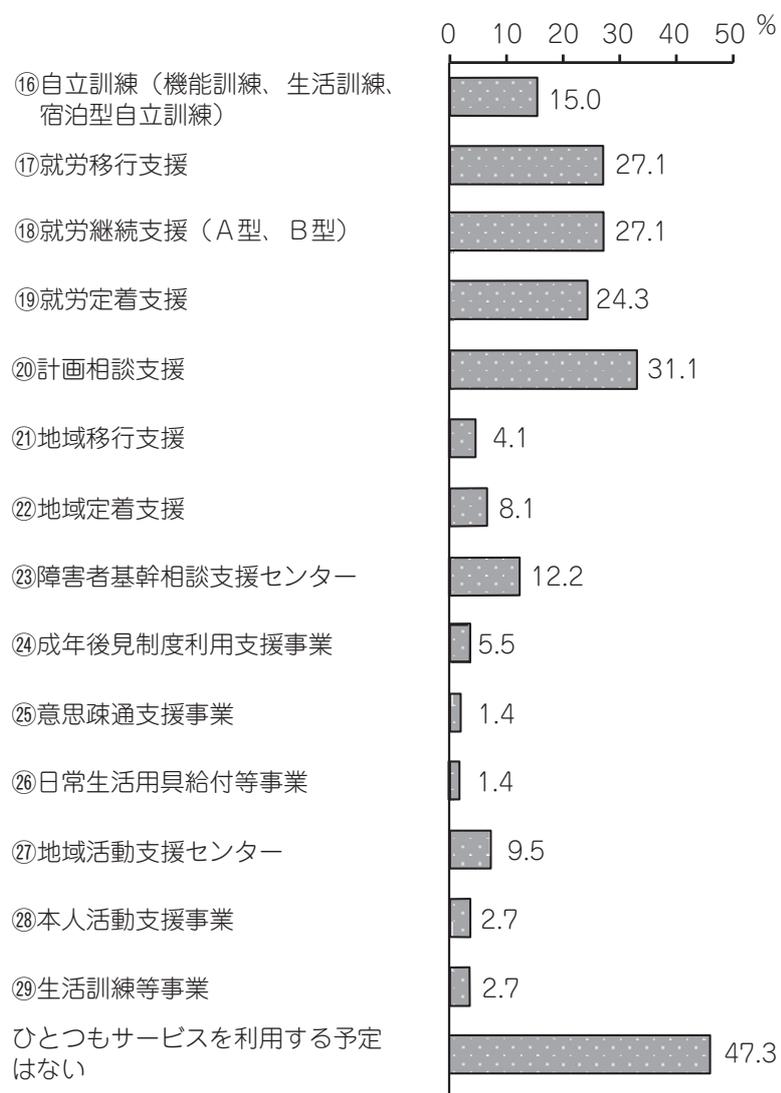




【発達障害のある人（18歳以上）】

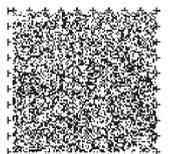
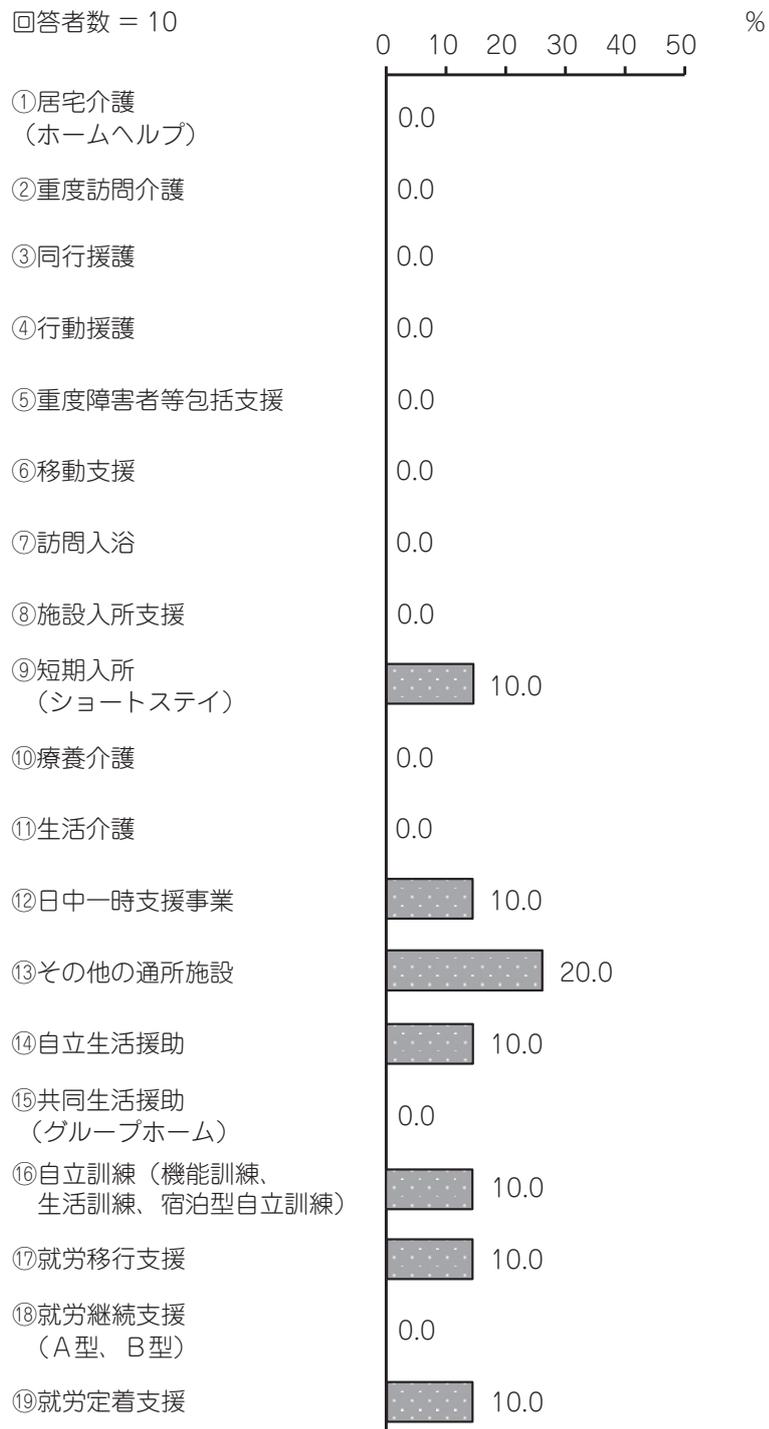
回答者数 = 74

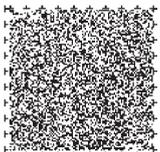
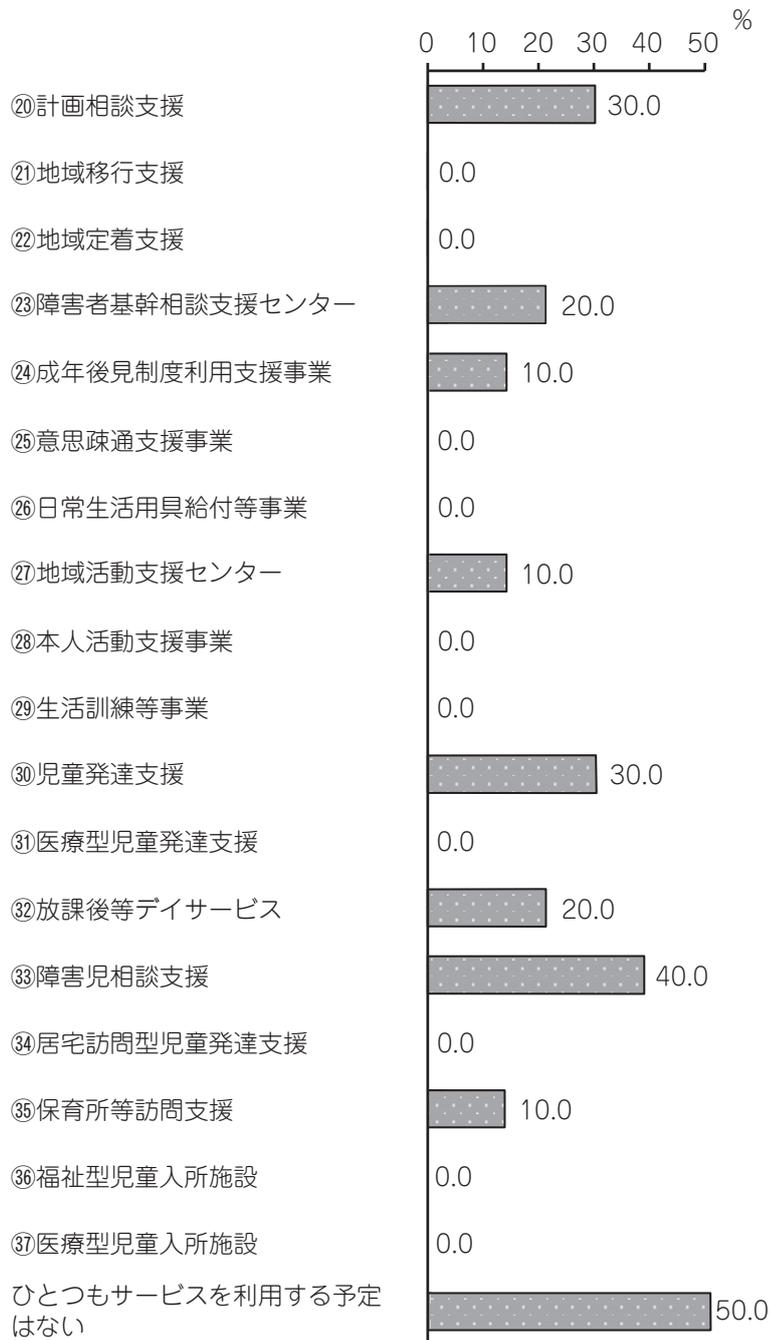




【発達障害のある人（18歳未満）】

回答者数 = 10

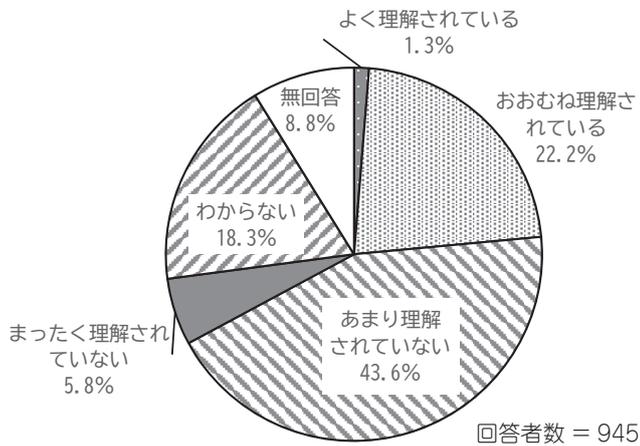




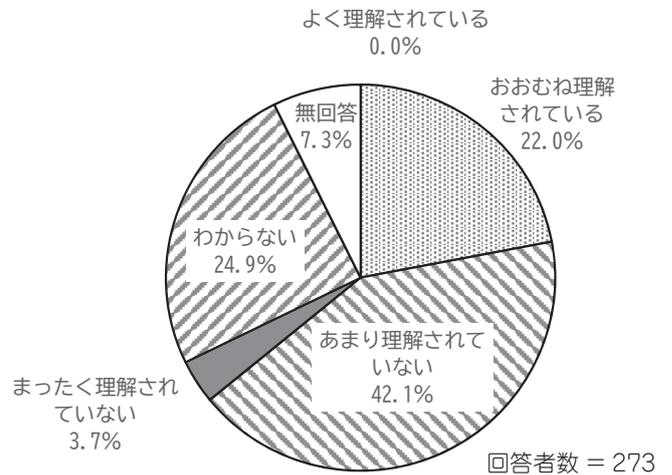
(12)障害のある人に対する市民の理解度について

すべてで「あまり理解されていない」が最も多くなっています。

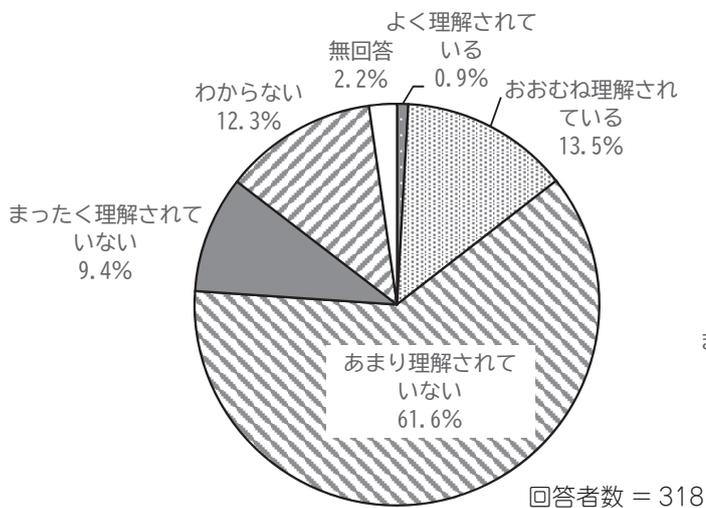
【在宅の人（18歳以上）】



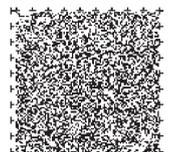
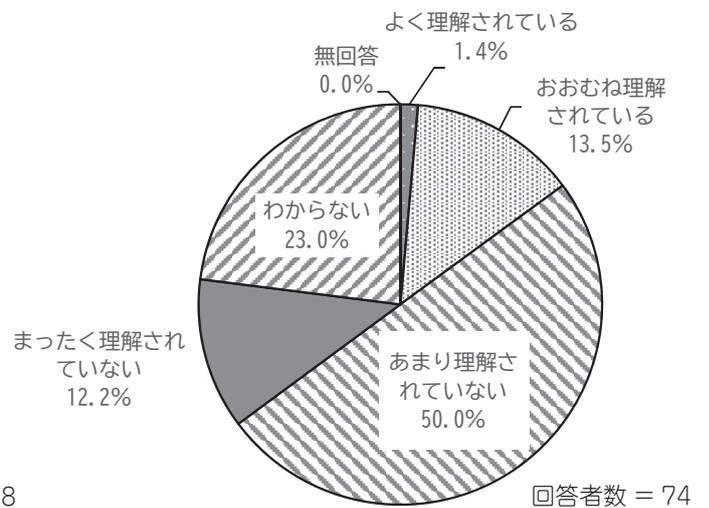
【施設に入所している人（18歳以上）】



【18歳未満の人】



【発達障害のある人（18歳以上）】



【発達障害のある人（18歳未満）】

